

令和 3 年度
事 業 報 告 書

(自) 令和 3 年 4 月 1 日
(至) 令和 4 年 3 月 31 日

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

目 次

総 括	1
会員の状況	2
法人運営の状況	3
地域福祉の部	10
包括支援の部	30
居宅介護の部	53
自立支援の部	57
【巻末】法人運営理念・サービス精神・職員心得	

総 括

令和3年度も前年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大が社会に暗い影を落とした1年でした。南丹市社会福祉協議会では、引き続き感染予防対策を徹底しながら各事業の継続に努めてきましたが、新たな変異株の拡大による第六波では、職員や家族等の感染に伴う自宅待機者の増加により、各事業所での職員体制の維持に苦慮することもあり、社会福祉法人として事業を継続する社会的責務の大きさをあらためて痛感する1年でもありました。

地域福祉部門では、生活相談課を中心にコロナ禍の影響を受けて生活に困窮する方々の支援にあたりました。国の新型コロナ対策の一環である生活福祉資金の特例貸付では、南丹市において令和2年4月から2年間の累計で、のべ648件の貸付を行い、貸付金額は2億6千万円を超えました。こうした福祉資金の貸付とあわせて、生活困窮者自立支援制度にもとづく各種事業等により、相談者の個別の状況に応じた丁寧な支援に努めてまいりました。

地域活動に関しては、コロナ禍により各種交流活動や研修会等が中止を余儀なくされることもありましたが、参加規模の縮小やオンラインの活用など、方法を工夫しながら取り組みを進め、地域福祉活動の推進に努めました。

また、令和5年度から施行される第4期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けては、市と協働で各種アンケート調査を実施し、市民をはじめ、各種団体・組織も含めて幅広く意見を寄せていただきました。次年度はこうした調査結果等をふまえ、第4期計画の内容を具体的に検討していきます。

包括支援部門では、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、多岐にわたる相談に丁寧に対応するとともに、介護者家族会の交流会や地域ケア推進会議等の各種事業を、オンライン方式や会場分散などにより工夫しながら取り組みました。また令和3年度は訪問型サービスD事業の本格スタートなどもあって、介護予防マネジメント業務が増加しました。

居宅介護部門・自立支援部門においても、前年度に続き、コロナ禍の影響を大きく受けました。一時利用の自粛や臨時休業を余儀なくされることもありましたが、各事業所において利用者の安全を第一に考え、コロナ禍においても各利用者の生活をしっかりと支えるべく、感染予防対策を徹底し、サービス提供の継続に職員一丸となって取り組みました。

厳しい経営状況が続いているが、経営改善の取り組みの成果も徐々に表れてきており、こうした取り組みは、今後組織全体でさらに進めていけるよう努めていきたいと考えています。

令和 3 年度

会員の状況

事務所	世帯数	普通会員		特別会員		世帯加入率 普通・特別計
		件数	金額	件数	金額	
本 所	—	0	0	2	4,000	—
園部事務所	6,709	2,800	2,792,700	7	18,000	41.8 %
八木事務所	2,984	1,713	1,716,000	8	21,000	57.7 %
日吉事務所	2,026	1,111	1,111,000	8	16,000	55.2 %
美山事務所	1,696	1,094	1,082,000	12	26,000	65.2 %
合 計	13,415	6,718	6,701,700	37	85,000	50.1 %

事務所	賛助会員		ふるさと会員		本年度合計金額
	件数	金額	件数	金額	
本 所	11	110,000	1	10,000	124,000
園部事務所	61	340,000	0	0	3,150,700
八木事務所	1	30,000	0	0	1,767,000
日吉事務所	0	0	0	0	1,127,000
美山事務所	9	69,000	0	0	1,177,000
合 計	82	549,000	1	10,000	7,345,700

事務所	普通・特別会費 前年度対比		会費合計 前年度対比	
	前年度金額	増 減	前年度金額	増 減
本 所	36,000	△ 32,000	156,000	△ 32,000
園部事務所	2,831,500	△ 20,800	3,166,500	△ 15,800
八木事務所	1,761,000	△ 24,000	1,806,000	△ 39,000
日吉事務所	1,226,000	△ 99,000	1,291,000	△ 164,000
美山事務所	1,165,000	△ 57,000	1,241,000	△ 64,000
合 計	7,019,500	△ 232,800	7,660,500	△ 314,800

令和 3 年度 法人運営の状況

〈理事会の開催状況〉

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5月21日 (金)	書面決議	理事 14 監事 2 その他	① 規則・規程の改正 ② 令和2年度 事業報告(案)の同意 ③ 令和2年度 決算(案)の同意 ④ 役員(理事・監事)選任候補者 ⑤ 評議員候補者の推薦 ⑥ 評議員選任・解任委員会委員の選任 ⑦ 評議員選任・解任委員会の招集 ⑧ 評議員会の招集
第 2 回	6月22日 (火)	園部文化会館	理事 13 監事 2 その他 4	① 会長、副会長、常務理事の選定 ② 顧問選任の同意 ③
第 3 回	3月25日 (金)	日吉町生涯 学習センター	理事 13 監事 2 その他 5	① 規則・規程の改正 ② 令和4年度 事業計画(案)の同意 ③ 令和4年度 収支予算(案)の同意 ④ 役員(理事)選任候補者の推薦 ⑤ 委員選任の同意 ⑥ 職員重要人事の同意 ⑦ 評議員会の招集

〈評議員会の開催状況〉

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	6月22日 (火) ※令和2年度会計に関する 定時評議員会	園部文化会館	評議員 15 理事 4 監事 2	① 令和2年度 事業報告(案)の承認 ② 令和2年度 決算(案)の承認 ③ 役員(理事・監事)の選任
第 2 回	3月25日 (金)	日吉町生涯 学習センター	評議員 19 理事 4 監事 2	① 令和4年度 事業計画(案)の承認 ② 令和4年度 収支予算(案)の承認 ③ 役員(理事)の選任

〈監事監査の実施状況〉

回	開催日	場所	出席	監査事項・指摘事項
第 1 回	5月20日 (木)	本 所	監事 2 理事 2	① 令和2年度 事業(法人運営・実施事業等) ② 令和2年度 決算(会計・経理等) ※適正と認める
第 2 回	11月24日 (水)	本 所	監事 1 理事 2	① 令和3年度 上半期事業(法人運営・実施事業等) ② 令和3年度 上半期会計(会計・経理等) ※適正と認める

〈理事会総務部会の開催状況〉

回	開催日	場所	出席	協議事項
第1回	5月13日 (木)	本所	委員 4 その他 4	① 新型コロナウイルス感染症への対応 ② 理事会・評議員会審議事項 ③ 令和2年度 事業報告(案)及び決算(案) ④ 役員及び評議員候補者
第2回	8月19日 (木)	本所	委員 4 その他 3	① 法人全体 第1四半期事業進捗 ② 経営事業 第1四半期収支 ③ ボランティア基金 債券による資金運用 ④ 業務組織・機構改革
第3回	12月6日 (月)	日吉事務所	委員 4 その他 4	① 令和3年度上半期事業報告・収支状況 ② 令和4年度当初予算要望(補助・委託事業)予算要望 ③ 業務組織・機構改革 ④ 社協会費等の納入協力

〈理事会地域福祉部会の開催状況〉

回	開催日	場所	出席	協議事項
第1回	5月19日 (水)	本所	委員 5 その他 5	① 新型コロナウイルス感染症への対応 ② 理事会・評議員会審議事項 ③ 令和2年度 事業報告(案)及び決算(案) ④ 役員及び評議員候補者
第2回	8月2日 (月)	本所	委員 5 その他 5	① 地域福祉事業 第1四半期事業進捗 ② 包括支援センター 第1四半期事業進捗 ③ 経営事業 第1四半期収支 ④ 業務組織・機構改革
第3回	12月8日 (水)	本所	委員 5 その他 5	① 令和3年度上半期事業報告・収支状況 ② 令和4年度当初予算要望(補助・委託事業)予算要望 ③ 業務組織・機構改革 ④ 社協会費等の納入協力

〈理事会事業部会の開催状況〉

回	開催日	場所	出席	協議事項
第1回	5月14日 (金)	本所	委員 3 その他 5	① 新型コロナウイルス感染症への対応 ② 理事会・評議員会審議事項 ③ 令和2年度 事業報告(案)及び決算(案) ④ 役員及び評議員候補者
第2回	8月11日 (水)	本所	委員 4 その他 5	① 居宅介護部 第1四半期事業進捗 ② 自立支援部 第1四半期事業進捗 ③ 経営事業 第1四半期収支 ④ 業務組織・機構改革
第3回	12月6日 (月)	本所	委員 3 その他 5	① 令和3年度上半期事業報告・収支状況 ② 上半期 経営事業収支状況 ③ 通所介護事業・小規模多機能居宅介護事業について ④ 業務組織・機構改革

〈役員(理事・監事)研修会の実施状況〉

回	開催日	場所	出席	内容
第1回	6月22日 (火)	園部文化会館	理事 3 監事 2	新任役員研修会 ① 南丹市社協の概要 ② 令和3年度事業計画および予算
第2回	7月26日 (月)	各施設	理事 8 監事 2	施設見学会 ① 当会経営各事業所の見学・説明

〈正・副会長会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	4月28日 (水)	本 所	新型コロナウイルス感染症への対応について 経営事業の収支状況について 理事会・評議員会審議事項
第 2 回	5月27日 (木)	本 所	理事会書面決議について 令和2年度決算(案)について 経営事業の収支状況について
第 3 回	7月1日 (木)	本 所	理事会部会構成について 災害時等の支援協定締結について コロナ余剰ワクチンの接種について
第 4 回	7月30日 (金)	本 所	理事会部会について 八木ディサービスセンターについて 経営事業の収支状況について
第 5 回	8月26日 (木)	本 所	緊急事態宣言に伴う対応について 南丹市長あて要望活動について やぎ詩の郷浴室修繕工事について
第 6 回	9月30日 (木)	本 所	業務組織・機構改革について 令和4年度予算要望に関する事前協議について 経営事業収支状況について
第 7 回	10月26日 (火)	本 所	理事会部会について 業務組織・機構改革について 経営事業の収支状況について
第 8 回	11月25日 (木)	本 所	理事会部会について ボランティア基金の運用について 経営事業の収支状況について
第 9 回	12月24日 (金)	本 所	年末年始の対応について 生活困窮者に対する年末・年始緊急支援について 経営事業の収支状況について
第 10 回	1月28日 (金)	本 所	業務組織・機構改革について 新型コロナウイルス感染症への対応について 経営事業の収支状況について
第 11 回	2月28日 (月)	本 所	理事会・評議員会審議事項について 新型コロナウイルス感染症への対応について 経営事業の収支状況について
第 12 回	3月22日 (火)	本 所	理事会・評議員会について 新型コロナウイルス感染症への対応について 事業所運営規程の改正について

〈企画小委員会 合同会議の開催状況〉

回分	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	7月2日 (金)	市日吉支所	全体) 昨年度事業報告、市地域福祉計画、今年度事業計画 各小委員会) 正副委員長選出、今年度計画、次回会議日程 全体) 企画委員長の互選

〈園部町企画小委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	7月21日 (水)	園部文化会館	園部エリアの地域福祉事業の報告 地域別懇談会の開催計画について
第 2 回	3月25日 (金)	園部文化会館 (中止)	地域別懇談会振り返り、まとめ 来年度の実施計画について

〈八木町企画小委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	12月20日 (月)	八木事務所	南丹市社協についての説明 八木エリアの地域福祉事業の取組 今後の企画小委員会・地域別懇談会について

〈日吉町企画小委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	8月4日 (水)	本所	日吉エリアの地域福祉事業の報告 第4期地域福祉計画・活動計画について (アンケート内容等) 今年度事業の予定について
第 2 回	3月16日 (水)	本所 (中止)	今年度事業のふりかえりについて 第4期地域福祉計画・活動計画 市民アンケートの報告等

〈美山町企画小委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	8月24日 (火)	美山保健センター (中止) 書面会議	書面による報告・意見聴取 美山エリアの地域福祉事業の報告 第4期地域福祉計画・活動計画について (アンケート内容等)

〈広報委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6月7日 (月)	書面会議	書面による報告・意見聴取 今年度の広報発行計画について 「なんたん社協だより」第49号(7/21発行)原稿案について
第 2 回	9月9日 (木)	書面会議	書面による報告・意見聴取 「なんたん社協だより」第50号(10/8発行)原稿案について
第 3 回	12月6日 (月)	書面会議	書面による報告・意見聴取 「なんたん社協だより」第51号(1/14発行)原稿案について
第 4 回	3月18日 (金)	書面会議	書面による報告・意見聴取 「なんたん社協だより」第52号(4/22発行)原稿案について

〈ボランティアバンク運営委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6月7日 (月)	書面会議	書面による報告・意見聴取 報告事項(事業報告・計画・決算・予算、V基金運用益等) ボランティア活動助成(グループ・ボラ連・特別助成)要綱の審議 他
第 2 回	8月16日 (月)	書面会議	令和3年度南丹市ボランティア交流会の中止について
第 3 回	11月2日 (火)	本 所	グループ・ボラ連活動助成の結果報告、下半期の活動予定 正副委員長の選出 ボランティアグループ活動特別助成審査
第 4 回	3月17日 (木)	本 所 (中止) 書面会議	報告事項(活動動画の件、地域福祉計画のアンケート結果) 令和4年度事業計画・事業予算案について 令和4年度ボランティア団体への助成事業案について

〈福祉資金調査委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	7月19日 (月)	本 所	くらしの資金 夏期貸付、特例貸付について 償還状況について 生活福祉資金 借受者の状況、特例貸付について 他
第 2 回	12月6日 (月)	本 所	くらしの資金 冬期貸付、特例貸付について 償還状況について 生活福祉資金 借受者の状況、特例貸付について 他

〈苦情解決第三者委員会・個人情報保護委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	12月21日 (火)	本 所	正副委員長の選出 事故・苦情報告

〈善意銀行運営委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	12月27日 (月)	本 所	正副委員長の選出 令和2年度福祉基金決算並びに今年度の状況

◇ 令和3年度 ボランティア基金 運用実績 (金額単位 : 円)

基金原資 ①	利 息 ②	売買による損益 ③	運用益合計 ④=②+③	年間運用率 ⑤=④÷①×100
93,000,000	2,284,000	-579,406	1,704,594	1.832%

※運用率は少数点第4位切り捨て

◇ 令和3年度 福祉基金(善意銀行積立金)残額 (金額単位 : 円)

区分	内 容	積立額	取崩額	
繰越	前年度末積立金残高	56,647,276	0	
取崩	見舞金(3件) 家屋半焼 他	0	141,600	
積立	預金利息	2,428	0	積立金残額
合 計		56,649,704	141,600	56,508,104

地域福祉の部

1. 住民が主体的に取り組む地域づくりの支援

① 見守りネットワーク活動の充実

◆「あんしんあんぜん情報（見守りチラシ）」の発行（月1回発行、印刷部数：4,500枚／回）

＜テーマ＞

4月	脳トレに挑戦	10月	特殊詐欺にご注意を！！
5月	手軽にからだをほぐしましょう	11月	バチッと静電気の悩みはこれで解決！
6月	みんなで予防『食中毒』	12月	お節料理の食材に込められた意味（クイズ式）
7月	台風、豪雨に備えよう	1月	冬の転倒にご注意ください
8月	真夏もコロナに負けない！“熱中症も防いで、健康な毎日をおくりましょう！”	2月	冬のストーブ火災に注意しましょう
9月	考えて脳を活性化！さあみんなで考えよう！！	3月	春の養生のポイント

◆民生児童委員・ふれあい委員協働の見守りネットワーク

- ・毎月15日をあんしんあんぜんの日と定め、民生児童委員・ふれあい委員で見守りチラシを配布
- ・所定の様式を作り、見守り活動の報告が社協に届く仕組みを構築。9月から入力フォームを作成しパソコンやモバイル端末からも報告していただけるようにした。届いた報告は、まとめて社協からのコメントも記載し次月のチラシと一緒に送付している。（日吉町）
- ・9月から民生児童委員が居住する区のふれあい委員の協力を得て、「あんしん・あんぜん情報」を民生児童委員宅にも配布。配布した時に情報共有ができる目的としている。（美山町）

◆ふれあい型給食（毎月1回）

園部359食、八木362食、美山632食 計 1,353食 ※今年度美山・大野地区も開始

◆各町民生児童委員協議会 総会・定例会等への参加

- 4/22 園部 園部町民生児童委員協議会総会
- 6/23 八木 民生児童委員とケアマネジャー（八木エリア）との懇談会
- 9/22 八木 民生児童委員定例会にて共同募金・歳末助け合い支援についての説明
- 10/12 南丹市民生児童委員研修会
- 10/14 美山 民生児童委員（役員）、美山町内居宅介護事業所、社協との懇談会
- 11/16 美山 民児協定例会出席（食プロ報告、激励金推薦依頼）
- 12/21 美山 民児協定例会出席（激励金・見守り訪問物品の受け渡し、年末年始緊急支援の説明）

◆「ふれあい委員研修会」／「ふれあい委員ブロック会議」等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月後半に計画していたふれあい委員研修会（集合研修）を中止し、別途ブロック会議やビデオ等でふれあい委員の役割・活動について説明を行った。

園部町「ふれあい委員 ブロック会議」

6ブロックで実施（元町7/6、元村7/7、元桐7/14、西本梅7/15、摩氣7/21、川辺7/20）

内容：ふれあい委員の役割について説明、ふだんの活動紹介、民生児童委員との意見交換、総合事業簡易型訪問型サービスDの制度化、合同サロン取組みの協議

八木町「ふれあいネットワーク会議」

年5回開催予定（5月、7月、9月は、緊急事態宣言、まん延等防止重点措置発令のため中止）

※ふれあい委員研修時に発表予定だった「ふれあい委員・民生委員の連携」を目的とした動画を撮影し、9月にふれあい委員へ個別に郵送。

※9月のネットワーク会議中止を受け、見守り報告書を送付した。

- ・11月は全10ブロックごとに開催。
 - ・2月のふれあいネットワーク会議は、「まん延防止重点措置」が発令されていたため、中止。
- ※2月のネットワーク会議中止を受け、見守り報告書を送付した。

日吉町「新任ふれあい委員研修会」

4月28日に予定していた研修会を中止とした。各部署職員の顔と名前を知って頂けるように、研修内容を撮影、DVDや動画配信サービス等を活用し6月に送付した。

内容：社協日吉エリアの事業について、ふれあい委員の役割・活動内容について

美山町 ※美山町内では新任委員のみを対象に1ヶ所で行う予定だったが、緊急事態宣言の発令により中止とした。

4月19日 大野地区ふれあい委員研修会

(ふれあい委員の役割や活動ならびに、虹の湖ネットワークの活動について、
民生児童委員と懇談)

10月18日 知井地区福祉懇談会で、ふれあい委員研修を実施。

(社協からふれあい委員の役割を説明し、民生委員担当地区ごとに情報交換を行った)

11月30日 元気にすごせるまち宮島協議会役員会で、ふれあい委員研修を実施。

◆住民主体の見守り活動 (※府社協のひとつなぎ事業活動助成申請団体)

個別に訪問や配食、電話、サロン中止時やサロン欠席者向けにチラシなどを持って自宅への訪問などを行われている。

	団体名	見守り対象者 (人数)
1	新町健友会	健友会会員、会員以外新町区民 (33人)
2	木崎町	木崎町区民 (30人)
3	いきいきサロンコスモス	上木崎町区民サロン登録者 (10人)
4	楽々の家	70歳以上のお一人暮らしの方 (13人)
5	サロンひまわり	本郷東区在住の65歳以上の独居の方、70歳以上のご高齢者 (90人)
6	NPO 法人サンシャインやぎ	65歳以上の高齢者 (40人)
7	西田ふれあいサロン	65歳以上の独居の方、70歳以上の高齢者 (95人)
8	青戸ふれあいいきいきサロン	青戸区内在住の72歳以上の方 (52人)
9	エール's	八木町在住概ね65歳以上の方で、エール会員登録された方 (8人)
10	北屋賀老人会寿クラブ	地域の老人会会員 (45人)

◆「みんなで一歩プロジェクト～元気に春を迎えよう～」健康づくりすごろくの達成

あんしんあんぜん情報を届け見守り訪問等で関わりのある方々を対象にして、健康づくりすごろくを推奨した。令和3年2月～4月にかけて取り組んでもらい、5月12日に抽選を行った。当選者には景品、落選者には参加賞をお渡しした。公式ラインでプロジェクトの情報発信も行った。プロジェクトの報告は、CATVで動画のおたより、社協だよりの紙面、アスエル園部の展示において市民に向けて発信した。また詳細をまとめた報告書を作成し、ふれあい委員、民生委員、協力企業、団体、協力機関に配布した。

第10回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)への応募を行ったところ、厚生労働省老健局長優良賞を受賞した。

[配布数] 約6,500枚

[協力事業者数] 48事業所・団体

[実施期間] 令和3年2月初め～4月23日

[応募者数] 722名

◆「みんなで一步プロジェクト～元気に春を迎えよう～」その後の取り組み

達成者 1名×100円を使って子育てサロンを応援するための事業を実施した。

[事業名] 親子で学ぶ防災講座

[日 時] 令和4年3月13日（日）10:00～12:00

[内 容] あんどうりす氏による防災講座

[参加者] 6家族15名（オンライン参加含む）

◆「みんなで一步プロジェクト2022 ひよしバージョン」健康すごろく

今年度の実施について、日吉町の民生委員・ふれあい委員にアンケートを実施。回答者から賛同いただき実施を決定。民生委員・社協内の多職種のチームでプロジェクトを実施。今回は、住民全員で取り組むことでつながり作りや介護予防の効果を高めたいという思いで、高齢の見守り対象者だけでなく、日吉町全戸、保育所・小学校への配布も行った。

配布数	4160枚
協力事業者数	景品…36 すごろく作成…8
応募期間	令和4年2月初め～4月22日（金）
3/31 現在応募者数	延べ208名

② サロン活動・通いの場づくりの推進

◆ふれあいいきいきサロンの状況（サロン助成申請件数にもとづく数）※3月末現在

	園部	八木	日吉	美山	全体
サロン登録数(3月末)	50	16	12	35	112
開催したサロン数（のべ）	291	36	22	124	473
特例助成申請のサロン数（のべ）※	65	29	12	13	119

※なお、特別助成は緊急事態宣言が出されていた4～6月および8～9月の期間に実施。サロンの中止連絡等を兼ねて声掛け・見守りを実施したサロンに対して助成を行った。

◆「サロンメイト」（サロン向け通信）の発行（9月）

◆いきいき小桜（サロン）と京都聖カタリナ高校生との交流

・京都聖カタリナ高校普通科健康スポーツ系の生徒7名と教員2名が、いきいき小桜サロンを訪問。手づくりゲームや脳トレゲーム等を楽しみ、交流を深めた。

◆すずらん会（サロン）と京都聖カタリナ高校生との交流

・ここ2～3年、京都聖カタリナ高校普通科健康スポーツ系の生徒との交流を継続していたが、コロナの影響によりサロン開催が見送られている。そのため高校生手づくりのカードをサロンへ届け、交流を図った。

◆地域活動者へのお手紙送付

7月下旬 コロナのため活動を自粛されている地域活動者（サロン代表・ボランティア団体代表）宛に様子伺いを兼ねて手紙を送付した。

◆平屋地区サロン従事者交流会

10/20 美山町平屋地区のサロン従事者による、レクリエーション講座と情報交換会の実施

◆生きがい活動支援通所事業（ミニデイ）終了後の通いの場づくりや参加の促進

・昨年度末のミニデイ終了により、各地域で住民主体による活動の立ち上げ支援を行った。

地域	内容
園部	サロンのない地域において4月以降の場作りについてふれあい教室ヘルパーや区役員、民生委員、ふれあい委員等と打ち合わせを重ねた。（4月に3サロン、5月に小山西町ふれあいいきいきサロン、7月に殿谷GGクラブがサロン登録。）
八木	町全域を参加エリアとして介護予防の通いの場として「エール」を月2回、社協八木事務所・吉富ノ庄にて開催。（4月より開催） 6月～9月 ・まん延防止等重点措置、緊急事態宣言発令のため中止。 →月に1度は中止の連絡とあわせて、参加者の見守り電話を行われている。

	<p>10月～1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者への電話を行ながら、吉富ノ庄で開催。 ・参加者2人増加 <p>1月下旬～3月中旬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置のため、中止。 <p>3月中旬～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を行なながら、通常通り実施
日吉	<p>地域が中心となって実施している場を地道に応援し続けるとともに生き通利用者をはじめ参加者をつなげる働きかけを行った。</p> <p>また、胡麻地域まちづくり協議会と地域の民生委員・ふれあい委員・ケアマネジャーとの福祉懇談会の実施のサポートを行い、その話し合いの結果から、胡麻地域で令和4年4月から新規に介護予防教室を開催されることになった。</p>
大野地区	旧ミニデイスタッフ、振興会、虹の湖ネットワークの有志により、新規団体を立ち上げる。4月から運用開始。
知井地区	旧ミニデイスタッフ、振興会、有志により新規団体を立ち上げる。関係者は有償ボランティアとして活動する。7月より運用開始。
宮島地区	旧ミニデイスタッフ有志で新規団体を立ち上げ、宮島協議会で送迎部門を担う。訪問Dを利用し、有償ボランティアとして活動する。利用者窓口として振興会が担う。R3年6月より運用開始。
鶴ヶ岡地区	<p>鶴ヶ岡振興会が主体となり、旧ミニデイスタッフと振興会有志で新規団体を立ち上げ。</p> <p>7月より運用開始。送迎は、地元の社福法人美山こぶしの里より車両提供（貸出）の申し出があり、借用して行っている</p>
平屋地区	<p>平屋福祉協の主催で11月より運用開始予定。</p> <p>（美山町の全ての地区でミニデイ代替えの通い場ができることになる。）ミニデイ時代よりも利用者が大幅に増（4名→26名）</p>

③ 住民主体の支え合い活動、移動、外出支援活動の推進

◆地域における生活支援ニーズの把握

地域	内 容
園部町全域	<ul style="list-style-type: none"> ・町内を6ブロックに分けて民生児童委員、ふれあい委員を中心としたブロック会議を開催 ・「ふれあい男の居場所」をサロンとして登録 ・ふれあい男の居場所（4/20）（4/21）（4/22）（6/25）（7/20）（3/1） ・民間事業者と総合事業実施について面談（4/12）（4/14）（5/21）
元町地区	<ul style="list-style-type: none"> ・宮町華俱楽部[宮町]（8/3） ・すずらん会[若松町]（10/13）
元村地区	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき小桜[小桜]（6/8）（7/13） ・小山西ふれあいいきいきサロン[小山西]（7/14） ・府営住宅自治会に訪問型サービスD事業の説明会を実施。（7/28）
元桐地区	<ul style="list-style-type: none"> ・桐ノ庄郷振興会主催で宇治市にて通いの場先進地視察実施（6/68） ・元桐地域集いの場「ふれあい広場」にて宇治市からの視察受入（1/17） ・木崎町区では近隣ミニネットワーク活動として戸別訪問や避難誘導訓練などの活動を継続。 ・木崎町区文化祭（11/23） ・木崎町区見守り活動対象者交流会（12/13） ・桐ノ庄郷振興会が設立（上木崎町、河原町、木崎町、内林町、瓜生野、熊崎、新堂、千妻、曾我谷）されて4月から活動開始。7月から通所型サービスB事業の実現を目指して隔週で集いの場「ふれあい広場」を開催。 ・若なろ会[木崎町]（6/14）（7/12） ・ぐう・ちょき・ば[曾我谷]（3/1） ・ふれあい広場[元桐地区]（7/5）（9/6）（10/4）（10/18）
川辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ・かわべ親子サロン[川辺地区]（8/20）（10/31） ・方切ふれあいサロン[越方]（1/11）
摩氣地区	<ul style="list-style-type: none"> ・摩氣高山の郷振興会主催で訪問型サービスD事業と「常設カフェ・サロン」の実施を目指してアンケート調査を実施し、移動支援事業を3月から活動開始。 ・摩氣高山の郷振興会にて訪問型サービスD事業の実施を目指して説明会を実施。（11/16）（1/24）

	<ul style="list-style-type: none"> ・摩気高山の郷振興会主催で滋賀県日野町にて移動支援事業先進地視察実施（11/2） ・摩気高山の郷振興会主催で福知山市中六人部にて廃校跡地利用先進地視察実施（12/5） ・摩気地域文化祭（11/28） ・竹井区にて訪問型サービスD事業の実施を目指して利用者の把握を目指してお買い物支援実証実験事業について説明会を実施。（6/28）（10/25）（11/29） ・竹井楽笑サロン[竹井]（7/13）（9/14）（9/14）（12/14）
西本梅地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興会役員との会議、地区合同「にしほんめいきいきサロン」の開催継続予定支援（9/30） ・天引区では車両乗合いによる買い物支援事業「天引お買い物デイ」を昨年度から月1回継続開催。社協公用車を貸出し支援。 ・「天引区の活性化と未来を考える会」役員会は、天引区のお買い物支援を検討するため訪問型サービスD事業の説明会を実施。（6/10） ・地域振興会の副会長と理事がブロック会議に出席され、民生児童委員、ふれあい委員との意見交換。 ・西本梅地域振興会が実施主体となり訪問型サービスD事業での実施をめざして振興会役員会にて事業内容の説明会を実施。 ・なごみ会[殿谷]（8/10） ・大河内にこにこサロン（8/25） ・すみれの会[埴生]（8/26）（10/21）（12/7） ・令和水無月会[西本梅地区]（10/23） ・西本梅合同サロン「いきいきサロン」[西本梅]（10/27） ・楽笑会[若森]（10/28）
日吉町全域	<ul style="list-style-type: none"> ・おれんじスポットひよし実行委員会（4/15・6/22・8/12・8/12・10/14・12/9・2/10）※旧ひよしのまちかわ（認知症かわ） ・京都スカイセンターとの打合せ（6/17・3/8）
世木地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議（7/8・2/14） ・ようきはったカフェ（7/1・12/4） ・世木地域振興会ワークショップ（7/24・10/8・11/19）
四ツ谷・ 佐々江地区	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり教室
田原地区	<ul style="list-style-type: none"> ・興風デイサービス：パステルアート体験（7/15）
胡麻地区	<ul style="list-style-type: none"> ・胡麻地域まちづくり協議会運営委員会・福祉部会・子育て部会（6/21・11/4・11/22・11/23・11/26） ・上胡麻いきいきサロン（7/7） ・まちカフェサロン（12/12・1/9） ・東胡麻高齢者スマホ教室（12/2・12/16） ・お出かけツア（買い物支援）の実施。11月より訪問D事業へと移行 ・平屋サロンほっこり会への送迎支援
平屋地区	<p>平屋地区地域福祉推進協議会役員会、ふれあい委員・民生委員交流会の開催、大谷大学との交流事業における「移動支援に関するアンケート調査」実施。</p> <p>お出かけツア（買い物支援）の実施</p>
宮島地区	<p>元気にすごせるまち宮島協議会、宮島地区ネットワーク会議、ふれあい委員・民生児童委員交流会、お出かけツア（買い物支援）の実施、宮島地区地域福祉計画の策定、</p> <p>しろ山ほほえみサロンへの送迎支援</p>
鶴ヶ岡地区	<p>鶴ヶ岡地区地域福祉計画の策定</p> <p>高齢者に向けたおすそ分け事業の実施</p> <p>・まなづるサロンへの送迎支援（車両は美山こぶしの里から借用し運用）</p>
知井地区	<p>安全安心のまちづくり委員会、民生委員・ふれあい委員・委員会役員による高齢者様子伺い、</p> <p>防火訪問、知井サロンでんごり会への送迎支援</p>
大野地区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、ふれあい委員の情報交換会 ・大野にこにこ会への送迎支援。1月より美山育成苑の車両を借用して運用。

◆支え合いサービスに関する調査・研究、協議

- ・園部 桐ノ庄郷振興会の通所型サービスB事業を目指す視察研修 6/28 宇治市「つどいのえまり」
- ・美山 平屋地区地域福祉推進協と大谷大学との連携により、お出かけツアに関するアンケート及び聞き取り調査を実施

◆地域への働きかけと生活支援サービスの創出

地域	内 容
西本梅地域	・西本梅地域振興会が実施主体となり訪問型サービスD事業の実施を目指して役員会で説明会を実施。(7/8)
元桐地域	・桐ノ庄郷振興会にて通所型サービスB事業の制度要望を目指して元桐地区全体を対象とした通いの場を隔週で実施。 ・府内の通所型サービスB事業先進地見学として宇治市「つどいの笑舞利(えまり)」に役員8名、社協2名で訪問(6/28) ・元桐地域集いの場「ふれあい広場」に宇治市から集いの場及び移動支援事業実施団体として視察を受入(1/17) ・木崎町区「ちょいっと支援」を元桐地区全体に範囲を拡げて実施。
摩気地域	・摩気高山の郷振興会主催で滋賀県日野町にて移動支援事業先進地視察実施(11/2) ・摩気高山の郷振興会主催で福知山市中六人部にて廃校跡地利用先進地視察実施(12/5)
上本町区	・住民からの要望により認知症サポーター養成講座実施(8/4)
天引区	・「便利屋さん」(日常生活困りごと助け合いサービス)の継続実施。 ・天引お買い物デーを月1回継続実施。 ・「天引区の活性化と未来を考える会」役員会が天引区のお買い物支援を検討するため訪問型サービスD事業の説明会を実施(6/10)
竹井区	・ふれあい委員を中心に訪問型サービスD事業の制度説明会実施。(6/28) ・訪問型サービスD事業実施団体立ち上げに向けて応談(10/25)(11/4)(11/9)
八木町 本郷東・栄町2・観音寺区	・地域おたすけ隊“たすかる”有志により試行開始。支援会員5名。依頼内容には電球交換・電球の傘交換、粗大ゴミ出し、庭木せん定(応相談)など
平屋地区	・令和3~4年度にかけて住民同士の生活支援サービス「てんごりさん」事業を開始すべく検討中。

◆各地域での活動実践をサポートし、実践事例の情報発信・情報交換を進める

地域	内 容																																																																													
園部町域	・6月からお買い物支援実証実験事業として園部町内でお買い物にかかる送迎支援活動を実施。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th><th>利用登録者数</th><th>支援登録者数</th><th>計画回数</th><th>実施回数</th><th>延利用人数</th><th>延走行距離</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td><td>9人</td><td>4人</td><td>0回</td><td>0回</td><td>0人</td><td>0km</td></tr> <tr> <td>6月</td><td>10人</td><td>4人</td><td>5回</td><td>3回</td><td>6人</td><td>85km</td></tr> <tr> <td>8月</td><td>14人</td><td>4人</td><td>5回</td><td>4回</td><td>15人</td><td>138km</td></tr> <tr> <td>9月</td><td>15人</td><td>4人</td><td>5回</td><td>5回</td><td>14人</td><td>179km</td></tr> <tr> <td>10月</td><td>16人</td><td>4人</td><td>6回</td><td>6回</td><td>15人</td><td>185km</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>16人</td><td>4人</td><td>6回</td><td>5回</td><td>15人</td><td>184km</td></tr> <tr> <td>12月</td><td>16人</td><td>4人</td><td>6回</td><td>5回</td><td>15人</td><td>184km</td></tr> <tr> <td>1月</td><td>17人</td><td>4人</td><td>6回</td><td>4回</td><td>11人</td><td>113km</td></tr> <tr> <td>2月</td><td>17人</td><td>4人</td><td>6回</td><td>4回</td><td>12人</td><td>116km</td></tr> <tr> <td>3月</td><td>17人</td><td>4人</td><td>6回</td><td>2回</td><td>5人</td><td>55km</td></tr> </tbody> </table>	月	利用登録者数	支援登録者数	計画回数	実施回数	延利用人数	延走行距離	5月	9人	4人	0回	0回	0人	0km	6月	10人	4人	5回	3回	6人	85km	8月	14人	4人	5回	4回	15人	138km	9月	15人	4人	5回	5回	14人	179km	10月	16人	4人	6回	6回	15人	185km	11月	16人	4人	6回	5回	15人	184km	12月	16人	4人	6回	5回	15人	184km	1月	17人	4人	6回	4回	11人	113km	2月	17人	4人	6回	4回	12人	116km	3月	17人	4人	6回	2回	5人	55km
月	利用登録者数	支援登録者数	計画回数	実施回数	延利用人数	延走行距離																																																																								
5月	9人	4人	0回	0回	0人	0km																																																																								
6月	10人	4人	5回	3回	6人	85km																																																																								
8月	14人	4人	5回	4回	15人	138km																																																																								
9月	15人	4人	5回	5回	14人	179km																																																																								
10月	16人	4人	6回	6回	15人	185km																																																																								
11月	16人	4人	6回	5回	15人	184km																																																																								
12月	16人	4人	6回	5回	15人	184km																																																																								
1月	17人	4人	6回	4回	11人	113km																																																																								
2月	17人	4人	6回	4回	12人	116km																																																																								
3月	17人	4人	6回	2回	5人	55km																																																																								
元桐地域	・7月から元桐地区全体を対象とした集いの場「ふれあい広場」への送迎支援活動を実施。																																																																													

摩気地区	・摩気高山の郷振興会主催で訪問型サービスD事業と常設カフェ・サロンの実施を目指してアンケート調査を実施し、アンケート結果に基づき来年度事業開始を目指して実験的に移動支援事業と常設カフェ・サロンを実施予定。
天引区	・要望調査を行い希望者に「天引お買い物デー」として買い物移動支援を継続実施。
八木町	・そよかぜ八木オーブンカフェ開催時（月1回）、ボランティアによる移動支援実施。 ・送迎ボランティア「ゆいまーる」が「脳トレ」「エール」「個別の買い物支援」への送迎開始 脳トレ(八木・園部):月4回、エール:月2回、個別の買い物支援(対象:八木町在住):不定期 3月末登録者数:31名(令和3年4月～令和4年1月まで延べ利用者数:220名)
日吉町	・訪問Dを活用した五ヶ荘健康教室への移動支援が開始された。 ・訪問Dを活用したいきいき脳トレ講座への移動支援が開始された。 ・移動支援ボランティアの立ち上げがあり、活動のコーディネートを行った。 ・訪問Dを活用した中世木区住民への移動支援が開始された。 ・地域ケア推進会議における胡麻地域まちづくり協議会の実践報告のサポートを行った。
平屋地区	・お出かけツアーア事業。ふれあいカフェへの無料送迎 ・ミニデイ終了後の通い場への送迎
宮島地区	・お出かけツアーア事業の開催。元気アップ体操への送迎 ・ミニデイ終了後の通い場への送迎
鶴ヶ岡地区	・振興会による無料送迎 ・ミニデイ終了後の通い場への送迎。車両を(福)美山こぶしの里より借用。
知井地区	・ミニデイ終了後の通い場への送迎
大野地区	・ミニデイ終了後の通い場への送迎。車両を(福)美山育成苑より借用

④ 協働ですすめる地域福祉の体制づくり

◆地域福祉推進組織の立上げ支援、および継続支援

- ・地域福祉推進「モデル事業」・・・・2地区
- ・地域福祉推進「継続・発展事業」・・・3地区

モデル指定地区・活動主体	モデル	実施内容
(1) [園部]元桐地区 ／特定非営利活動法人 桐ノ庄郷振興会	モデル 新規	・桐ノ庄郷振興会にて通所型サービスB事業の制度要望を目指して元桐地区全体を対象とした通いの場を隔週で実施。 ・木崎町区「ちょいっと支援」を元桐地区全体に範囲を拡げて実施。
(2) [八木]南地区災害時避難者支援マップ作成会事務局	モデル 2年目	・5/12 5/22 6/3 事務局会議 ・7/11 災害時避難者支援マップ作成会全体会 第1回 ・7/26、8/17、9/15 事務局会議 ・8/29、9/26 災害時避難者支援マップ作成会全体会 第2回 延期 ・10/24 災害時避難者支援マップ作成会全体会 第2回 開催 ・10/26 事務局会議

活動継続発展事業申請地区	発展	実施内容
(3) [美山]宮島地区 ／元気にすごせるまち宮島協議会	発展 2年目	・移動手段のない高齢者の支援としておでかけツアーアの実施（美山町宮島地区内および園部方面）と元気アップ体操の実施 ・ミニデイ代替事業としてのサロン活動の運営 ・地域別懇談会の実施 ・宮島地区福祉活動計画の策定 〔・地区福祉計画の策定に向け、委員が活発に意見交換をしてくれている。 ・お出かけツアーやミニデイ後の通い場運営が順調に実績が出ている。 ・役員やスタッフのなり手がなく、次の世代が育たない。〕

(4) [日吉]四ツ谷・佐々江地区／住みよいむらづくり協議会	発展3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・第2第4水曜日の健康教室の開催（健康づくり・旧ミニディ参加者の通いの場の提供） ・訪問D事業の実施（送迎時の安否確認） ・まなびや通信の定期発行（広報） ・森のマーケットの開催（他団体との連携）
(5) [美山]鶴ヶ岡地区／住み続けられる町づくり推進会議	発展1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の高齢者等の無料送迎の維持・継続 ・独居高齢者を対象とした「おすそわけ事業」「たなせんの配達業務」 ・上記2点による高齢者の見守り活動 ・ミニディ後の一通い場への運営協力及び送迎支援（ミニディ送迎に関して、地元の社福法人である美山こぶしの里より車両貸出の申し出があり、協力体制を強化できた）

◆地域別懇談会

・園部町

テーマ「地域の絆を取り戻そう～コロナ禍での活動にひと工夫を～」

11/5(金) 元桐地区、11/19(金) 摩気地区

10/15(金) 西本梅地区、10/29(金) 川辺地区

アンケート調査を実施して地域状況を把握、共有（元町地区、元村地区）

※コロナ禍の為、懇談会を開催出来なかった元町地区、元村地区の2地区は、「コロナ禍での地域活動（地域の行事、サロン活動、見守り等）について」アンケートを実施。

全地域の参加対象者に向けて、懇談会およびアンケート結果についてまとめたものを送付。

・日吉町

12/10 胡麻地域 ※胡麻地域まちづくり協議会主催のため、社協は後方支援を行った

・美山町

10/18（月）知井地区

11/30（火）宮島地区

◆地域たすけあい会議（第2層協議体）の開催

園部地域たすけあい会議

開催日：5月19日（水）

内 容：木崎町区で開始された「ちょいっと支援」について情報共有。

天引区「お買い物デー」について情報共有。

桐ノ庄郷振興会の活動について情報共有。

地域住民主体の移動支援事業について制度及び法的関係について共有。

コロナ禍での住民活動について注意点事項や新たな活動を情報共有

日常生活総合事業の先進地事例から園部町に必要な事業を検討・意見交換。

訪問型サービスD事業実施団体の立ち上げを目指して園部町内でお買い物支援実証実験事業の内容及び実証方法の検討、調整。

八木地域たすけあい会議（未開催）

日吉地域たすけあい会議

開催日：12月15日（水）

場 所：社協本所 農事研修室

テマ：移動支援について

話題提供・活動報告：京丹波町 竹野活性化委員会

参加者：移動支援活動団体・活動検討中の団体・社会福祉法人・明治国際医療大学・地域包括等

美山地域たすけあい会議 1月26日（水）→コロナ禍により中止

◆南丹市商工会女性部との連携

・6/18 第1回懇談会

みんなで一歩プロジェクトにおける景品の提供依頼をきっかけに、商工会とつながりが出来た。女性部幹部（会長・副会長・事務局）の方と意見交換を行い、社協からは、つながろう南丹ネットの登録など、商工会で取り組んでいただけそうな事業や研修を紹介させていただいた。今後も、お互いの事業について、出来る部分で連携し、ネットワークを広げ、強化していきたいと考えている。

- ・9/14 オレンジガーデニングプロジェクト 苗のお渡し
南丹地域包括支援センターが実施するオレンジガーデニングプロジェクトの花の種をボランティアに育ててもらい、女性部活動として認知症啓発をしていただくようお渡しした。
- ・9/26 の園部城祭りに向けて、認知症啓発の取り組み「オレンジガーデニングプロジェクト」を中心とした合同出店を企画していたが、祭りは中止となった。そのため、9/14 に育苗したオレンジの花の苗約 40 株と、オレンジガーデニングプロジェクトのオリジナルポスターを作成し、商工会女性部へお渡しし、加盟店への配布と啓発を行ってもらった。

⑤ 地域福祉活動の財源づくり

◆南丹市共同募金委員会「運営委員会」

月日	内 容
第1回 6月17日(木) 書面決議	副会長の選任、R2事業報告、R2会計決算報告、R3事業計画、R3会計収支予算の承認
第2回 9月8日 (水) 書面決議	戸別募金の依頼、街頭啓発、各団体への協力依頼、広報活動、歳末たすけあい募金助成事業
第3回 3月31日 (木) 書面決議	R3赤い羽根募金（一般募金）助成結果中間報告、R3歳末たすけあい募金助成結果中間報告、R4赤い羽根募金（一般募金）助成計画

◆南丹市共同募金委員会「審査委員会」

月日	内 容
第1回 6月16日(水)	じぶんの町を良くする活動助成(一次募集分)の審査、子ども・子育て応援助成(一次募集分)、当事者団体活動助成(公募分)の審査
第2回 11月17日 (水)	じぶんの町を良くする活動助成(二次募集分)の審査、子ども・子育て応援助成(二次募集分)の審査

◆助成実績

助成事業名	件数	助成金額
赤い羽根募金助成	じぶんの町を良くする活動助成(一次募集)	10 件 911,041 円
	じぶんの町を良くする活動助成(二次募集)	7 件 497,500 円
	子ども・子育て応援助成(一次募集)	1 件 100,000 円
	子ども・子育て応援助成(二次募集)	1 件 7,200 円
	当事者団体活動助成(公募)	2 件 400,000 円
	当事者団体活動助成(指定)	7 件 360,000 円
	サロン活動助成	950 人 142,500 円
	サロン活動感染症予防対策物品助成 (非接触型体温計・消毒液・ペーパータオル)	80 サロン 398,728 円
	サロン貸し出し用物品整備助成	1 件 42,900 円
	ボランティアグループ活動一般助成	50 件 464,573 円
	ボランティアグループ活動特別助成	13 件 221,563 円
	生活困窮者自立相談支援事業緊急時助成	1 件 97,829 円
歳末たすけあい募金助成	個人あて激励金助成	482 件 2,410,000 円
	障害児・者施設激励金助成	22 施設 220,000 円
	ふれあい・いきいきサロン歳末助成	72 サロン 376,250 円
	歳末たすけあい見守り訪問事業助成	3,659 件 191,090 円

◆「赤い羽根共同募金運動」、「歳末たすけあい運動」

- ・募 金 期 間：10月1日～12月31日
- ・目 安 額：赤い羽根募金(一般募金) 500円/世帯、歳末たすけあい募金 500円/世帯
- ・街 頭 啓 発：南丹市共同募金委員会 市内8か所で感染症対策をとりながら実施(10/1)
- ・募 金 箱 設 置：市内83か所
- ・法 人 募 金：市内25事業所
- ・職 域 募 金：市内12小中学校、南丹市内老人クラブ連合会、南丹警察署、南丹市役所役職員、南丹市社会福祉協議会役職員
- ・学 校 募 金 等：市内2高等学校

赤い羽根募金(一般募金)額：4,472,451円　歳末たすけあい募金額：3,259,200円

⑥ 地域防災力の強化【重点】

◆園部ライオンズクラブとの協定締結

「自然災害におけるボランティア支援に関する協定」締結式
日時：6月10日(木)午前10時～
場所：南丹市園部文化会館 アスエルそのべ3階大研修室

◆船井青年会議所との協定締結

「災害時等における協力体制に関する協定」締結式
日時：6月24日(木)午後4時～
場所：南丹市園部文化会館 アスエルそのべ3階大研修室

◆八木町南地区 災害時避難者支援マップ作成会議 ※モデル事業の項を参照

◆南丹市災害ボランティアセンター開設・運用訓練

開催日：7月14日(水)：南丹市日吉はーとぴあ 体育館

参加人数：42名

【内訳】南丹市社協職員26名、南丹ブロック社協職員(亀岡市・京丹波町)6名、京都府災害ボランティアセンター1名、南丹市役所(危機管理対策室・福祉相談課)6名、船井青年会議所3名

内 容：① 災害ボランティアセンターでの感染症対策には何が必要であるのか参加者で話し合い、レイアウトや備品の設置など感染症対策を講じた形に配置する。

② ①で開設したセンターで、実際にボランティアの受付から送り出し、その後活動の報告を受けるところまでをシミュレーションを行う。

評 価：参加者全員で「災害ボランティアセンター運営で感染症対策には何が必要なのか」話し合い、レイアウトの変更や備品の設置など感染症対策を講じた形に一定配置することができた。また、その後のシミュレーションを通してセンターの導線の確認や課題の発見をすることができた。今後、訓練を通して分かった課題の対策のため、備品の整備やマニュアルの調整をしていく必要がある。

◆緊急時避難支援台帳作成支援(日吉町)

世木地域振興会が取り組まれている緊急時避難支援台帳「結び目」の作成支援を行った。

◆防災イベント開催支援(日吉町)

地域団体主催の防災イベントの開催・運営支援を行った。

●世木地域振興会

開催日：11月28日(日) 場所：殿田小学校体育館

事業名：防災を考える日

内容：防災士による防災講座・起震車体験・防災マップ展示・明治国際医療大学、龍谷大学学生によるWS・日吉ダム展示・南丹市災害ボランティアセンター展示

支援・活動内容：段ボールベッド・災害用トイレの展示・防災食の配布・南丹市災害ボランティアセンター支援ボランティア登録受付

●胡麻地域まちづくり協議会

開催日：3月13日（日） 場所：胡麻基幹集落センター

事業名：アウトドア×防災講座

内容：アウトドア防災ガイド（あんどうりす氏）による防災講座・携帯トイレ体験

支援・活動内容：助成金（ミラたね）の案内・講師のコーディネート・オンライン開催に向けた

設備の準備・当日の運営・広報

◆園部中学校 1年生への防災教育

開催日：（1日目）令和3年1月26日、（2日目）2月9日

内 容：（1日目）クロスロード「災害発生！あなたならどうする？」

（2日目）講演会「園部町横田区防災委員長 松本氏」・「南丹市教育委員会 平井氏」・「南丹市社協 榎原事務局長」

ワークショップ「災害時だけではなく普段の生活から、園部に住む中学生の私たちに何ができるのか」

⑦ 地域福祉活動への住民参加の促進

◆中学生職場体験受入

園部中学校（今年度受入無）、桜ヶ丘中学校（2名）

◆小学校等における福祉体験学習

園部第2小学校	6/22（火）車いす体験、ユニバーサルデザインについて 学習後、児童から福祉に関する23の質問が寄せられた。この質問への応答には社協内の他部署にも協力を仰ぎ、様々な職種や立場の職員からの答えをまとめた。答えは10/4に小学校に提出し、次回以降への福祉教育の授業計画を立てる資料としても役立てていただいた。
八木東小学校	（協力：包括、居宅介護、訪問介護）3/11（金）事前学習（リモート授業）…「福祉」を通じ、誰もが過ごしやすい地域づくり（地域福祉）について考える。子ども自身が学び、発見できる機会をつくる。3/15（火）体験実習…車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験を実際に体験し、相手の立場に立って考えられるような機会をつくる。
美山小学校	2/3（木）4年生対象。車いす体験、福祉ってなんだろう

◆ボランティア登録者数（保険加入者）3月末現在

園部町	八木町	日吉町	美山町	その他（市外等）	合計
231名	295名	207名	294名	72名	1,099名

◆ボランティアグループ登録数

園部町	八木町	日吉町	美山町	その他（市外等）	合計
22団体	35団体	29団体	28団体	2団体	116団体

◆ボランティア団体への活動助成（ボランティア基金の運用益の活用）

ボランティアグループ活動助成	20,000 円×44 グループ、16,991 円×1 グループ、11,883 円×1 グループ、11,000 円×1 グループ、 10,274 円×1 グループ 10,000 円×1 グループ、5,000 円×1 グループ、4,000 円×1 グループ 共同募金と 1/2 助成	474,574 円
ボランティア連絡協議会活動助成	4 件	(130,000 円×3 ボラ連 100,000 円×1 ボラ連) 490,000 円
ボランティアグループ活動特別助成	申請額： 13 件	申請額： 221,562 円

◆「パソコン初級講座 2021」（南丹市まちづくりデザインセンターと共催）

社会貢献活動に関わる団体構成員及び個人が Word や Excel 等の使い方を学び、受講者の書類制作やチラシづくり、会計等の能力を向上させることを目的に、また長期目標として受講者がグループ化しパソコン講座を主催していくことも目指し、4 月に実施計画していたが、9 月～10 月にかけての開催に変更した。

※10 月に緊急事態宣言が再度発出されたため、南丹市まちづくりデザインセンターと協議の上、今年度は中止することとなった。

◆第 14 回南丹市ボランティア交流会・・・新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止。

◆ボランティア活動紹介動画の作成と放送

感染拡大によるボランティア活動の機会の減少ボランティアグループどうしの交流の機会が難しい中で動画をケーブルテレビで放映によって広く知つてもらうとともに活動依頼や会員募集もねらいとした。

4 グループを 2 月～3 月にかけて、なんたんテレビで放送。YouTube にもアップロードした。

◆音訳ボランティア入門講座

2/26、3/9、3/23、3/30 の 4 回シリーズで実施。 講師 安田知博氏 10 名が受講し、見えないということを学んだ後に発声練習、文章の読み方など基礎から実践の経験を積んでもらい、グループへの参加にもつながった。

◆「各町ボランティア連絡協議会」事務局

・園部町ボランティア連絡協議会

4/19 R2年度会計監査

4/22 代表者会議（南丹市国際交流会館コスモホール）

5/14 6/11 役員会（アスエルそのべ生涯楽習室）

5/22 総会延期⇒6/29（アスエルそのべ大研修室） 約40名参加

R2年度事業報告及び会計報告、R3年度事業計画案及び予算案決議、夏ボラ体験延期⇒冬ボラ体験として提案、承認。

12/19 夏に実施できなかつたボランティア体験を「Xmasボランティア体験」として実施（一般参加 79名、内訳 子ども49名、ボランティア協力者31名、事務局3名、合計113名参加）

昨年発行ができなかつた園部町ボランティアだより「青い鳥第 20 号」を 3 月に発行

・八木町ボランティア連絡協議会

【四役会】

6/1 第1回 四役会

- ・令和2年度会計報告・令和3年度年間行事計画（役員は書面決議にて実施）
- ・グラウンドゴルフを楽しむ集いの実施（予定）→11/1（月）

10/29 第2回 四役会（LINEを用いたリモート会議）

- ・南丹市ボランティア交流会中止の報告
- ・11/1に行われる「グラウンドゴルフを楽しむ集い」についての打ち合わせ

11/2 第3回 四役会

- ・グラウンドゴルフの反省・課題の洗い出し
- ・八木町ボランティアミニ交流会について

12/14 第4回 四役会

- ・八木町ボランティアミニ交流会について

3/8 第5回 四役会

- ・予算執行状況
- ・次回定例会内容について

【定例会】

6/4 第1回 定例会

コロナの感染状況を考慮し9月まで役員定例会の中止。(書面決議にて実施)

10/4 第2回 定例会中止(書面決議)

- ・南丹市ボランティア交流会中止の報告
- ・11/1に行われる「グラウンドゴルフを楽しむ集い」について

11/16 第3回 定例会

- ・四役会改正について
- ・グラウンドゴルフの反省・課題の洗い出し
- ・八木町ボランティアミニ交流会について

1/11 第4回 定例会

- ・八木町ボランティアミニ交流会について

3/22 第5回 定例会

- ・今年度決算について
- ・今後のボラ連活動について

【年間事業】

11/1 グラウンドゴルフを楽しむ集い開催

2/26 八木町ボランティアミニ交流会 中止

・日吉町ボランティア連絡協議会

4/7 代表者会、6/10 会計監査、6/17 役員会(※書面会議)、6/22 総会(※書面決議)、7/6 三役会

10/5 役員会 12/23 役員研修会

- ・広報誌「笑顔の輪・わ 3号」4/9、2/25発行(町内全戸配布)

- ・殿田小学校農業指導(3名)

- ・11/26 日吉町ボランティア交流会

場所:遊youひよし 内容:口演 語りべ安じい、ステージ発表など

- ・集めて送るボランティア活動を開始

・美山町ボランティア連絡協議会

令和3年度総会(書面決議)8月には広報誌を全戸配布で発行。

例年参加・協力をしていた「美山ふるさと祭り」や「美山育成苑まつり」が今年も中止。

- ・広報紙「ふれあい」ネットワーク情報 54号、55号を発行(町内全戸配布)

- ・9月 所属グループ向けにコロナ禍でのボランティア活動に関するアンケートを実施12団体から回答

- ・8~9月に緊急事態宣言が発令されていたことで役員会が実施できず、事業は年明けに延期

- ・11月15日、南丹市立美山中学校の花植え活動に協力

- ・3月5日に延期をした「美山町ボランティア交流会」は市内の感染者数増加の影響で年度内開催を断念した。

◆各種団体・サークル・当事者組織・ふくしまつり等の支援

<園部事務所>

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| ・視覚障害者送迎支援 | 予約調整 16回、中止延期等 3回、実施 13回、延利用者 49人 |
| ・身体障害者送迎支援 | 予約調整 5回、中止延期等 2回、実施 3回、延利用者 10人 |

＜八木事務所＞

- ・「難聴者の会」事務局 5/11 「難聴者の会」令和3年度総会(書面決議にて実施)
11/10 「難聴者の会」親睦会 開催 参加者：9名
- ・身体障害者送迎支援
 - ・7/13、7/25、9/14、9/19 10/17 2/8 3/6 いずれもコロナのため中止
 - ・10/10、10/12 11/9 12/14 1/11 3/8 送迎実施

＜美山事務所＞

- ・「美山福祉のつどい」事務局 令和3年度の「福祉のつどい」は中止。8～9月に今後の「つどい」のあり方についてアンケートを実施。

イベントとしての福祉のつどいの開催は当面の間は難しいと考えるが、関係者へのアンケートから、これまでと形を変えても実施していくことに意義があるのでとの意見を多数いただいた。中止するだけが感染症対策ではないので、次年度に向けて出来ることを実行できるよう、案を練っていきたい。

⑧ 地域貢献事業の推進

- (1) 市内社会福祉法人どうしの情報交換、意見交換や、協働実践事例の紹介により、地域貢献事業の推進を図る。

◆京都府さわやかボランティアロード事業（アイリス福祉会、シミズふないの里、社協八木事務所）

日時：令和3年4月27日（火）16時30分～17時15分
令和3年5月21日（水）16時30分～17時30分
令和3年7月21日（水）16時30分～17時15分
令和3年10月26日（水）16時30分～17時15分
令和4年3月24日（水）16時30分～17時15分

場所：八木町 国道477号線（府道25号線交差点～住吉大橋）にて。

◆社会福祉法人による移動販売誘致

美山こぶしの里では、地域貢献事業として自施設への移動販売の誘致を行い、施設利用者のみならず近隣の高齢者等も買い物できるように取り組んでいる。利用者・地域・企業のすべてが喜べる事業で、他の施設等でもこういった動きが広まるよう、広報等を通じて情報発信・啓発していく。

◆美山おたすけ会議

北桑会村田理事の呼びかけで、美山町内の社会福祉法人と国保みやま診療所と社協との懇談会を実施。

今後不定期に開催予定。

第1回 日時：11/9（火）

内容：情報交換、意見交流

第2回 日時：12/7（火）

内容：情報交換、意見交流、会の名称を決定

※2月にみやま診療所の西岡医師の講演を企画もコロナ禍により中止。次年度6月頃の開催を目指す。

※今後は情報交換だけでなく、協働してできることを企画していきたいという意見もある。

※この会をきっかけに美山育成苑より地域活動への車両貸出しの申し出があり、大野にこにこ会への車両貸出しに繋がった。

⑨ 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

- ・第1回 南丹市地域福祉計画推進委員会（7/29）第4期計画の策定について
- ・作業部会の実施（8/23、1/31、3/24）第4期計画の策定について
- ・アンケート調査の実施（11月）

市民アンケート（回答数/調査対象）1,077票/3,000票 回収率35.9%

団体アンケート（回答数/調査対象）481票/702票 回収率68.5%

（内訳）ボランティア 45/74 サロン 78/112 福祉協 11/19 社福法人 8/12

他の団体（食改、老連、家族会、子育て支援）8/13（以上 社協担当分）

防災関係者（区長・民生委員・消防団・自主防災組織）279/403

成年後見制度・福祉サービス利用援助事業関係事業者・担当者 52/69

⑩ 広報活動の充実

◆なんたん社協だより

号(発行日)	主な内容
第 49 号 (7 月 21 日)	令和 2 年度事業報告・決算報告、令和 3 年度予算、令和 3 年度役員・委員等紹介、みんなで一歩プロジェクト他
第 50 号 (10 月 4 日)	オレンジガーデニングプロジェクト、認知症カフェ、認知症サポートー、介護者家族の会、赤い羽根共同募金運動他
第 51 号 (1 月 14 日)	インタビュー記事 (2022 年の目標)、新年のごあいさつ(会長)、食からつながるプロジェクト、美山こぶしの里での出張販売の取組み、社協紹介他

◆園部事務所だより

地域活動などを紹介する「そのべお写真だより」をホームページに掲載、「あんしん・あんぜん情報」の裏面活用として主に各地区で開催されているサロンの紹介などを掲載

◆日吉事務所だより「h a n a s o 」

19 号 (6/25)、20 号 (8/27)、21 号 (12/10)、22 号 (2/10)、23 号 (4/6)

◆美山事務所 「みんなのまちの活動紹介」

- ・「あんしん・あんぜん情報」の裏面を活用し、地域での出来事やサロン活動の様子、社協からのお知らせなどを掲載している。
- ・5, 6 月号で、社協美山事務所に在籍する職員を写真入り（一部イラスト）で紹介。親しみのある社協を目指す。
- ・7 月「住民主体の通いの場（地区サロン）」、8 月「オレンジガーデニングプロジェクト」、9 月「プルトップを集めて車いすを贈ろう」、10 月「美山こぶしの里に移動販売がやってきた」、11 月「みんなでつくる地域包括ケアシステム、住民主体の活動で地域を豊かにする」、12 月「平屋ほっこりサロン」、1 月「ボランティアグループの紹介」、2 月「貸出物品の紹介、年末年始緊急支援」、3 月「美山小学校福祉教育」

◆みんなで一歩プロジェクト公式ラインアカウント

- ・公式ラインアカウントから、みんなで一歩プロジェクトの進捗状況などについて情報発信を行った。

2. 地域の暮らしを支える各種事業

① 介護予防・生活支援事業 (※南丹市委託事業)

(1) 食の自立支援サービス事業

◆利用実績 (3 月末現在)

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	38 人	49 人	49 人	67 人	203 人
延べ配食数	8, 734 食	13, 301 食	10, 572 食	9, 438 食	42, 045 食
備 考	夕食	昼食、夕食 (特別食あり)	夕食 (特別食あり)	昼食、夕食 (特別食あり)	

(2) 外出支援サービス事業

◆利用実績 (3 月末現在)

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	183 人	109 人	172 人	182 人	646 人
延べ利用件数	2, 439 件	2, 543 件	2, 826 件	2, 106 件	9, 914 件
延べ運行距離	56, 680 km	41, 944 km	143, 806 km	196, 983 km	439, 413 km

◆各種運転協力者講習会の実施

- 高齢運転者 安全運転講習会 4月7日(水) 16名 (対象:外出支援サービス、配食サービスの運転手で70歳以上の者、地域の活動で社協公用車を運転する70歳以上の者)
- 交通空白地有償運送運転協力者講習会 4月8日(木) 2人 (対象:日吉事務所職員)
- 運転ボランティア講習会 4月20日(火) (対象:お買い物支援実証実験事業に従事する者)

② 福祉サービス利用援助事業 (※京都府社協委託事業)

◆内部監査の実施 年2回

- ・上半期内部監査
10月1日 本所、10月21日 園部事務所、11月18日 日吉事務所、11月25日 八木事務所
11月26日 美山事務所
- ・下半期内部監査
2月4日 本所、2月7日 日吉事務所、3月10日 八木事務所
R4年4月20日 美山事務所 予定、R4年4月27日 園部事務所 予定
- ・府社協による実地調査 12月17日

◆支援件数状況 (令和4年3月末現在)

事務所	支援件数				合計	内、生活保護受給世帯		
	内訳							
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他				
園 部	1	12	17	6	36	16		
八 木	4	3	4	2	13	5		
日 吉	0	5	3	2	10	4		
美 山	2	7	3	0	12	3		
合 計	7	27	27	10	71	28		

(2) 各種研修

研修・会議	開催日	参加人数
専門員新任研修 (府社協) 1回目 zoomでのweb開催	4月22日 (木)	2人
専門員新任研修 (府社協) 2回目	7月21日 (水)	1人
専門員意思決定支援研修 園部 web開催	4月13日 (火)	2人
専門員意思決定支援研修 八木 web開催	4月13日 (火)	3人
専門員意思決定支援研修 日吉 web開催	6月25日 (金)	3人
専門員意思決定支援研修 美山 web開催	4月16日 (金)	3人
専門員実務研修 zoomでのweb開催	1月28日 (金)	3人
日常生活支援事業 専門員実践力強化研修Ⅰ	10月6日 (水)	2人
第2回福祉サービス利用援助事業 南丹・乙訓・山城北ブロック 専門員・権利擁護担当職員会議及び事例検討会 web開催	3月8日 (火)	4人
南丹ブロック 生活支援員研修交流会 第1回検討会議	12月7日 (火)	2人
南丹ブロック 生活支援員研修交流会 第2回検討会議	1月19日 (水)	1人
南丹ブロック 専門員・担当職員視察研修視察先:京都府立洛南寮	2月25日 (金)	中止
生活支援員新任研修 (府社協) 日吉 web開催	7月12日 (月)	3人
生活支援員新任研修 (府社協) 美山 web開催	7月 6日 (火)	3人
生活支援員現任研修 園部 web開催	4月13日 (火)	2人
生活支援員現任研修 八木 web開催	4月13日 (火)	3人
生活支援員現任研修 日吉 web開催	6月25日 (金)	5人
生活支援員現任研修 美山 web開催	4月16日 (金)	7人
生活支援員研修交流会 (八木事務所)	11月8日 (月)	11人
生活支援員研修交流会 (園部事務所)	11月12日 (金)	19人

生活支援員研修交流会（美山事務所）	11月19日（金）	12人
生活支援員研修交流会（日吉事務所）	11月29日（月）	12人
第2回生活支援員新任研修（園部事務所） 動画視聴	1月19日（水）	3人
生活支援員現任研修 園部 web開催	2月22日（火）	9人
生活支援員現任研修 八木 web開催	2月22日（火）	7人
生活支援員現任研修 日吉 web開催	2月22日（火）	7人

◆今年度の研修等は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、Web開催や各地での小規模開催とした。準備に時間を要することになったが、全体としての参加率は上がった。

③ 福祉資金(生活福祉資金・くらしの資金)貸付事業 (※京都府社協委託事業、南丹市委託事業)

◆生活福祉資金 特例貸付 (新型コロナウイルス感染症対策)

※貸付状況 別表(29ページ)参照

4~3月実績 緊急小口 65件 総合支援 65件 総合延長 27件 再貸付 92件

◆生活福祉資金(通常貸付)

・貸付件数 内訳(4月~3月末)

	総合支援資金			教育支援資金		金 不動産担保型生活資金	緊急小口資金	臨時特例つなぎ	福祉費	不明や非該当	制度について	その他	合計	
	生活支援費	住宅入居費	一時生活再建費	教育支援費	就学支援費									
貸付	1	0	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	8

◆くらしの資金(南丹市委託事業)

・貸付件数

※()内は相談件数

	園部	八木	日吉	美山	合計
夏 期	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
冬 期	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)

④ 生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業 (※南丹市委託事業)

◆相談受付件数(3月末)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
新規相談受付件数(総数)	8	11	14	13	12	5	10	5	8	9	1	7	103	180
プラン作成件数(総数)	11	16	10	15	23	11	30	16	15	11	10	25	193	163
法に基づく事業件数	住居確保給付金	2	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	11	1
	一時生活支援事業	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	4	0
	家計改善支援事業	0	2	0	0	1	1	0	1	1	2	0	1	9
	自立相談支援事業による就労支援	1	2	0	2	0	0	0	2	2	1	2	13	8
	福祉資金による貸付	6	13	10	7	23	8	27	12	13	6	7	21	153

・町別内訳

園部町	八木町	日吉町	美山町	その他	不明	合計
58	19	19	5	1	1	103

・年代別内訳

～10代	20代	30代	40代	50代	60～64	65～	不明	合計
0	16	15	20	22	7	22	1	103

・相談内容内訳（重複あり）

病気や健康、障害	家賃やローン支払い	仕事探し、就職	家族との関係	ひきこもり、不登校	住まい	税金・公共料金支払い	食べ物がない	仕事上のトラブル	地域との関係性	DV・虐待	収入・生活費	債務	子育て	介護	その他
25	24	30	6	5	15	23	6	5	1	1	83	14	7	6	6

◆支援調整会議の開催

通常開催 11回

4/20、5/26、7/27、8/23、9/28、10/28、11/22、12/22、1/21、2/25（文書会議）、3/22

臨時支援調整会議 33回

4/5、4/19、4/26、5/6、5/17、5/24、6/7、6/14、6/21、6/28、7/5、7/19、7/26、7/26、8/2、8/10、8/23、8/30、9/27、10/4、10/11、10/22、10/25、11/1、11/8、11/15、12/20、1/11、1/17、3/15
3/18、3/28、3/28

◆専門職との連携

- ・法的解決支援プログラム（京都司法書士会）相談案件数 21件（昨年度 年間16件）
- ・生活困窮者支援機関向け専門電話相談（京都弁護士会） 適用案件数：2件

◆赤い羽根共同募金 生活困窮者自立相談支援事業緊急時助成の活用

適用件数：4件 計 97,829円（水光熱費、スーパーのプリペイド、宅食費等）

◆南丹市社協フードパントリー／物品バンク等

- ・小規模フードパントリー 適用人数：延べ60件（米、飲料、缶詰、缶パン、乾麺、レトルト、調味料等を提供）
- ・小規模物品バンク 適用人数：延べ6人（衣類・電子レンジ・歩行杖等）
- ・家電製品貸与支援 適用人数：延べ2人（洗濯機1台）

◆京都セカンドハーベストとの連携

適用人数：2件、うち個別提供1件、社協備蓄用の提供1件）

◆くらしの出張相談会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施せず。

◆京丹後市へ支援調整会議運営についての視察勉強会実施（11月9日）

◆生活困窮者自立相談支援事業研修会

1月27日開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を延期。

◆たんけんたい（多様な職場等の見学・体験企画）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施せず。

◆食からつながるプロジェクト@なんたん（詳細別紙参照）

- ・食からつながるプロジェクト@なんたん（日吉開催）

・年末年始緊急支援（府民に寄り添った地域活動緊急支援事業）（各4町で開催）

◆南丹市社協メンタルヘルスサポート研修会開催 3月18日（金） 参加者7人

◆事業周知のための広報用物品の作成 マグネット200個 リーフレット2,000部

◆生活困窮者の居住課題解決に向けての取り組み

「居住支援法人そのべる」令和4年度からの支援調整会議参加委員としての追加

◆多頭飼育課題を考えるワーキングチーム会議

6月コアメンバー参加呼びかけ

10月10日 コアメンバー会議（実態把握後に「問題解決プロジェクト」へ）

3月14日 ワーキングチーム会議（アンケート調査実施で実態把握へ）

⑤ 法人後見事業

◆法人後見運営委員会の開催

第一回法人後見運営委員会

日時：7月30日（金）午前10:00～ 場所：南丹市社協 本所 農事研修室

内容：R2年度事業報告、R3年度事業計画について、利益相反について、受任候補者のケース検討等

第二回法人後見運営委員会

日時：11月16日（火）午前10:00～ 場所：南丹市社協 本所 農事研修室

内容：受任候補者についての報告と検討、法人後見専門員・法人後見支援員研修会について

第三回法人後見運営委員会

新型コロナウイルス拡大防止の観点から文書会議に変更

内容：受任候補者についての報告、法人後見専門員・法人後見支援員研修会延期について、職員研修実施報告

◆南丹市権利擁護・成年後見センター 運営委員会への参画

第1回 日時：5月28日（金）午後2:30～ 場所：南丹市役所3号第5会議室

第2回 日時：11月2日（火）午前10:00～ 場所：南丹市役所3号第4会議室

第3回 日時：1月11日（火）午前10:00～ 場所：南丹市役所4号庁舎2階会議室

第4回 日時：3月30日（水）午前10:00～ リモート開催

◆法人後見内部勉強会

日時：9月8日（水）9:30～11:30 場所：南丹市社協 日吉事務所

内容：「権利擁護の金銭管理」 講師：権利擁護事業専門員

日時：12月7日（火）13:30～15:30 場所：南丹市社協 美山事務所

内容：「ケース検討を通じた成年後見制度利用に至るまでの理解を深める研修」 講師：生活相談課長

日時：1月20日（木）14:00～15:00 場所：園部家庭裁判所

内容：「成年後見申立に係る改定裁判所での事情聴取へ同行」 実地研修

日時：2月14日（月）10:00～12:00 場所：南丹市社協 本所

内容：「任意後見契約について」 講師：小林義博氏

◆法人後見専門員・法人後見支援員研修会

日時：2月16日～2月24日までの4日間、各回1時間半

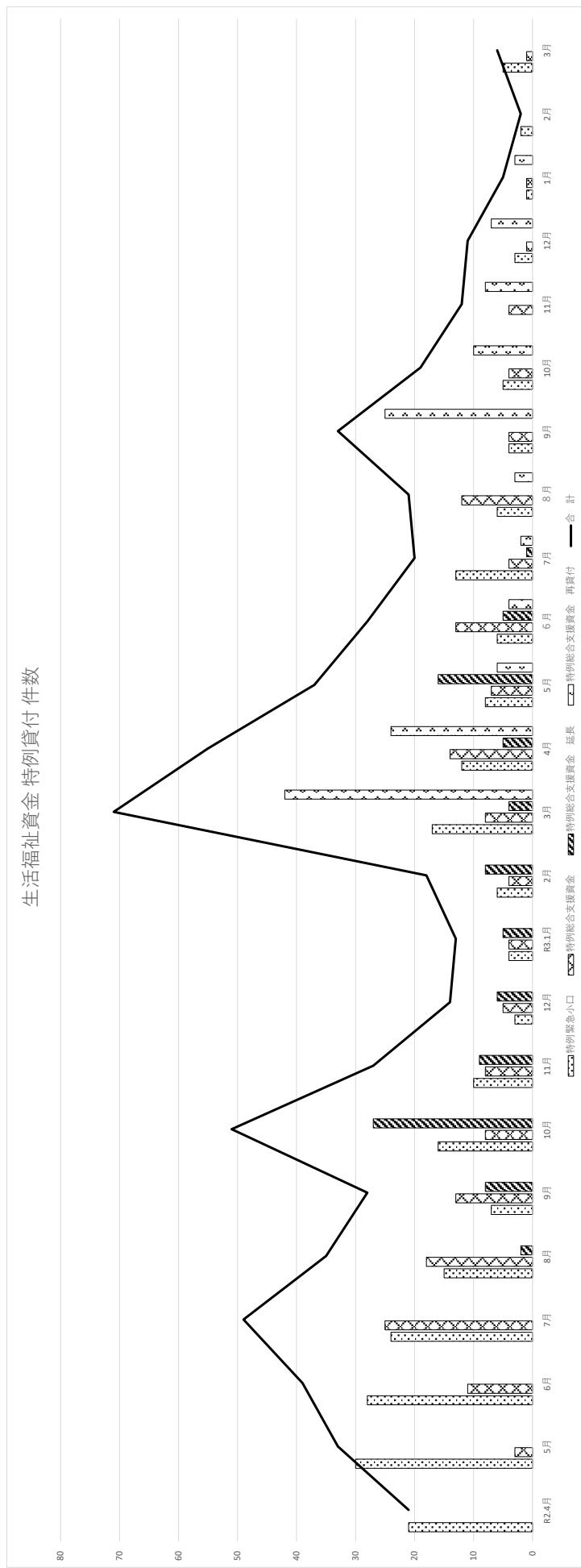
内容：専門職後見人等の定期訪問に同行し、実地にて後見業務を学ぶ

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から延期

◆受任候補者の後見申立について申立人を援助中

＜別表＞生活福祉資金特例貸付状況

2022.3.31現在



特例貸付のべ件数

	R2.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	貸付額(円)
特例緊急小口	21	30	28	24	15	7	16	10	3	4	6	17	12	8	6	13	6	4	5	0	3	1	2	5	246	48,500,000
特例総合支援資金		3	11	25	18	13	8	8	5	4	4	8	14	7	13	4	12	4	4	1	1	0	1	172	90,000,000	
特例総合支援資金 延長				2	8	27	9	6	5	8	4	5	16	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	96	51,150,000	
特例総合支援資金 再貸付												42	24	6	4	2	3	25	10	8	7	3	0	0	134	72,000,000
合計	21	33	39	49	35	28	51	27	14	13	18	71	55	37	28	20	21	33	19	12	11	5	2	6	648	261,650,000

包括支援部

1. 南丹地域包括支援センター事業 (南丹市委託事業)

(1) 総合相談

今年度の相談件数は各事務所で多少増減はあるものの、概ね横ばいであった。内容としては、制度・サービスに関する相談が半数を占めている。相談を受けて単にサービス利用につなぐだけで終わりではなく、情報収集と課題整理を行い、対応する分野を切り分けするのではなく複合的な支援が円滑に行えるよう、他機関と連携を図り対応している。民生委員と個別で年1回の情報交換を設けており、身近な困りごとの相談を受けたり、住民に向けて相談窓口として紹介いただけたようになつた。また、啓発グッズ配布やCATVを活用した広報で包括を知った家族から、相談が寄せられるようになつた。

①新規相談件数

	件 数													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
南 部	26	30	34	36	35	39	33	42	36	34	25	27		397
内 訳	園部	19	14	23	21	23	29	23	28	22	20	21	14	257
	八木	7	16	11	15	12	10	10	14	14	14	4	13	140
北 部	25	16	12	11	14	21	15	17	14	17	17	18		197
内 訳	日吉	11	7	5	5	6	11	5	9	7	15	9	10	100
	美山	14	9	7	6	8	10	10	8	7	2	8	8	97
その他の	1				2		2	1	1	2			1	10
不明							1	1						2
合 計	52	46	46	49	49	63	50	60	52	51	42	46		606

②相談経路（重複あり）

相談経路	件数	割合	相談経路	件数	割合
本人	44	6.9%	区長・区役員	5	0.8%
配偶者	58	9.1%	近隣住民	9	1.4%
子・子の配偶者	178	27.9%	サロン	1	0.2%
家族・親族	25	3.9%	老人クラブ	0	0.0%
ケアマネ	39	6.1%	ボランティア	3	0.5%
サービス事業所	22	3.4%	その他	30	4.7%
入所施設	2	0.3%	合 計	639	100.0%
医療機関	62	9.7%			
社協	46	7.2%			
学校	0	0.0%			
行政	59	9.2%			
ふれあい委員	3	0.5%			
民生児童委員	53	8.3%			

③相談内容（重複あり）

相談内容	件数	割合
制度・サービス	417	56.7%
虐待（疑い含む）	3	0.4%
認知症	57	7.8%
衣食住	12	1.6%
医療	14	1.9%
入退院	32	4.4%
施設入退所	14	1.9%
アルコール	2	0.3%
権利擁護	5	0.7%
状況確認	86	11.7%
出前講座依頼	2	0.3%
生活困窮	11	1.5%
その他	80	10.9%
合 計	735	100.0%

(2) 権利擁護

①高齢者虐待

令和3年度の通報件数は5件だった。うち、虐待の認定は3件。そのうち、1件については既に終結している。

半年に1回の終結判断会議にて、前年度から継続しているケース6件のうち、5件の終結を確認している。次年度に継続するケースは3件となる。

平成30年度には、通報件数は22件であり、件数としては年々減少している。一方で、通報までは至らずとも心配なケースとして権利擁護的な側面から相談があったケースは、今年度12件だった。その中には、後々、通報ケースとして挙がったものも2件含まれている。

また、今年度は、警察から暴力を含んだ相談ケースが4件あった。高齢者虐待は養護関係が成立しているかが含まれ、暴力=虐待とはならないが、心配な状況があることは事実であり、虐待ではなくともどのように高齢者の権利を擁護できるかという点については課題が残る。

いずれにしても、心配な状況をいかに早期に発見するかと、支援が必要な養護者に対しては、適切な支援機関が関わることが重要となってくる。

虐待対応マニュアル等の改善・広報を行政とともにに行いながら、市内の支援体制の強化を図りたい。

ア. 虐待通報件数 (4~3月) 5件 虐待認定 3件

イ. 相談者内訳

相談者	件数
民生児童委員	1
ケアマネ・サービス事業所	1
医療機関	
行政・警察	2
家族・親族	1
本人	
その他	
合 計	5

ウ. 虐待種別(重複有)

種類	件数
身体的虐待	4
心理的虐待	1
介護放棄	
性的虐待	
経済的虐待	
疑い不適切な状況	
合計	5

経年虐待通報件数推移



エ. 被虐待者の内訳

性別	人数
男 性	2
女 性	3
合 計	5

年代	人数
64歳以下	
65~69歳	
70~74歳	1
75~79歳	
80~84歳	3
85歳以上	1
合 計	5

要介護度	人数
申請中	
要支援1	
要支援2	1
要介護1	2
要介護2	1
要介護3	1
要介護4	
要介護5	
認定なし	
合 計	5

認知症有無	人数
あり	4
なし	1
不明	
合 計	5

オ. 養護者の内訳

性別	人数	関係(続柄)	人数
男 性	5	夫	
女 性		妻	
合 計	5	息子	5
		娘	
		息子の妻	
		娘の夫	
		孫	
		その他	
		合 計	5
		同居の有無	人数
		同 居	5
		別 居	
		合 計	5

カ. 対応 *以前からの継続ケース含む

会議	開催回数
虐待コア会議	5回
虐待評価会議	5回
支援調整会議	1回

キ. 通報ケース

通報者	虐待種別	被虐待者				虐待者			認定
		年齢	性別	介護度	認知症	関係	年齢	同別居	
1 行政・警察	身体的虐待	80~84歳	女性	要介護3	あり	息子	51~60歳	同居	有
2 ケアマネジャー	身体的虐待	70~74歳	男性	要介護1	あり	息子	41~50歳	同居	無
3 民生児童委員	身体的虐待	80~84歳	女性	要介護2	あり	息子	61~70歳	同居	無
4 家族・親族	心理的虐待	80~84歳	女性	要介護1	あり	息子	51~60歳	同居	有
5 行政・警察	身体的虐待	85歳以上	男性	要支援2	なし	息子	51~60歳	同居	有

ク. 相談ケース

	相談者	内容	高齢者					加害者(疑)	
			年齢	性別	介護度	認知症	関係	年齢	同別居
1	ケアマネ・サービス	暴言	80～84歳	女性	要介護1	あり	息子	51～60歳	同居
2	行政・警察	物を投げる、暴言	85歳以上	男性	認定なし	不明	娘	51～60歳	同居
3	行政・警察	暴力(家庭内暴力)	70～74歳	男性	認定なし	なし	息子		同居
4	ケアマネ・サービス	古い食べ物が放置	80～84歳	女性	要介護2	あり	息子		同居
5	行政・警察	締め出し・暴言	70～74歳	女性	要介護1	あり	夫	71～80歳	同居
6	行政・警察	暴力(DV疑い)	70～74歳	女性	認定なし	あり	夫	71～80歳	同居
7	行政・警察	暴力	70～74歳	女性	認定なし	なし	息子	41～50歳	同居
8	行政・警察	暴力	70～74歳	男性	認定なし	なし	息子	31～40歳	同居
9	加害者	暴力	80～84歳	女性	要介護2	あり	夫	85～90歳	同居
10	家族	不透明な金銭管理	85歳以上	女性	認定なし	なし	近隣住民		別居
11	ケアマネ・サービス	暴力	85歳以上	女性	要介護2	あり	息子	61～70歳	同居
12	ケアマネ・サービス	身体拘束(カギ)	80～84歳	女性	要介護3	あり	娘・息子		別居・同居

②成年後見

R3年度

医療面からの不安や生活困窮がきっかけとなって制度利用の相談を受けて対応を急ぐケース、制度についての説明を希望されるケース、福祉サービス利用援助事業の利用につながったケース等がみられた。多種多様な相談に緩急自在に対応できるように今後も多機関との連携を密に図っていくことが必要である。

ア. 成年後見相談件数 (4～3月)

8 件

事例概要		地域	主な対応、支援内容
1	入院先の病院から、身寄りもなく経済的にも厳しい状況であるとの相談。身体状況の低下もあり、入院前と同様の生活を送ることが難しく、介護サービス費用の捻出が懸念された。	八木 (5月)	病院から生活相談センターや行政へ相談。生活保護受給や福祉サービス利用援助事業につながった。成年後見制度についても検討となる。
2	生活保護のケースワーカーより、電気が止まったということをきっかけに相談。認知症が進行しており食事の記憶もなく、所持金0円である状況が発覚。(預金残高1円)	八木 (5月)	急遽受診支援、入院となる。生活相談センターと連携し、福祉サービス利用援助事業に繋ぎながら、成年後見についても検討することとなる。
3	知的障害があり、親戚が保佐人となり金銭管理をしているが、使途不明金が多くなっている。	日吉 (8月)	介護保険更新時だったため、サービス担当者会議の中で、今の状態を整理する。理解力や認知症の有無について医療面で診てもらうことになった。
4	癌末期により余命宣告を受けて、入院中。在宅時は福祉サービス利用援助事業を利用していた。身寄りがなく、死後の手続きなどが懸念された。	園部 (11月)	ケアマネ、社協、行政と今後について検討する。司法書士にも相談し、福祉相談課を中心に市長申し立ての手続きを行う事となる。
5	近しい親族もおらず、夫は施設入所中で独居。本人より、自分が夫より先に亡くなった場合の事や自分が金銭管理できなくなったらの事について相談。成年後見制度について知りたいという希望ある。	園部 (11月)	本人が福祉相談課・成年後見センターへも相談されていた為、相談員と一緒に訪問し、成年後見制度について説明する。
6	(3のケース) サービス担当者会議にて類型見直しの必要性を確認し、医療機関との連携を図り受診につないだ。	日吉 (10月)	保佐人、親戚とケアマネで受診同行した。認知機能検査を受けられ、3ヶ月後再診となった。
7	3年程入院されており、退院が決まった方。独居で、入院前より生活費の滞納があるなど金銭管理が難しくなっている。	八木 (10月)	他府県在住の弟に成年後見制度を勧めるも希望されず。必要時には弟に対応してもらい、福祉サービス利用援助事業で支援することとなる。
8	独居。体調悪化により入院、退院後在家生活が困難な状況。近隣のかぶつうちの方や友人が支援していたが、認知機能の低下により今後施設入所が見込まれ金銭面の支援が困難となるため成年後見制度の利用を提案する。	日吉 (1月)	病院から老健入所のタイミングで本人・甥に制度説明、利用意向を確認する。コロナで面会制限があるためタイミングをみて司法書士と本人が面談、利用に向けて再検討することとなる。

③成年後見制度・消費者被害・権利擁護研修

特殊詐欺の手口や南丹市内の発生状況を知ることで、消費者被害を未然に防止すると共に、身近な駐在所との連携を深めることを目的にして、各町毎に以下の内容で研修会を開催した。

参加者からは、「研修内容を事業所内で共有したい」「訪問先での啓発を実施しました」と好評で、参加者からさらに啓発を行っていただける内容となった。研修後、今後学びたい内容等についてアンケートを実施したところ、定期開催や成年後見制度の研修会の希望もあり、検討していきたい。

開催日：8/2日吉町、8/11八木町、8/17園部町、10/28美山町

内容：特殊詐欺被害、コロナ禍における新しい手口や南丹市内の発生状況、予防策について

講師：南丹警察署

対象：介護支援専門員、訪問介護事業所、社会福祉協議会、地域包括支援センター

参加者：30名(園部町11名、八木町4名、日吉町12名、美山町3名)

(3) 包括的・継続的マネジメント支援事業

本年度のケアマネ連絡会では、BCP、認知症、訪問型サービスD等、業務で求められている内容に焦点をあてた研修を開催することができ、アンケートでは「関心のある内容であった」等と概ね好評を得られた。来年度も感染対策でオンラインを活用することになると思われるが、参加者同士でのグループワークなどの工夫をし、ケアマネジャーの専門性や業務意欲の向上につながる内容、取り組みを企画していきたい。

なんたん通所サービス部会では7月・11月に連続研修『コロナ禍でも楽しい時間を提供しよう～レクリエーションの基礎座学から実践へスキルアップ！～』を開催した。7月にはオンライン、11月には会場研修を行い、参加者からは「コロナでレクリエーションに悩んでいたので、工夫次第でいくらでもできる事がわかって楽しかったです」などの感想を頂いた。また、他の事業所の取組などについて知りたいとの声を受け、3月4日に『新生活様式を取り入れたデイサービスの在り方を考えよう』と題し、コロナ禍でも各事業所で工夫して取り組んでいることなどについてアンケートを実施した。

① ケアマネ連絡会

開催日	内容・講師	参加
第1回 6/18 (金)	「離れて暮らすご家族様へのアンケート結果」の報告・グループワーク (オンラインにて開催)	41 名
第2回 8/24 (火)	「災害への備え 業務継続計画 (BCP)について」 講師：京都府介護支援専門員会 常任理事 村上晶之様 (オンラインにて開催)	36 名
第3回 11/16 (火)	「レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症について」 講師：京都中部総合医療センター 精神科医 中村光男様 「認知症初期集中支援チームについて」 包括 中斎直見看護師 (オンラインにて開催)	43 名
第4回 2/14 (月)	「総合事業・訪問型サービスD (移動支援)について」 解説：高齢福祉課 田中悠介主事 南丹市社協 中村友紀Co 芦田崇Co 上薗和子Co 清水昇臣Co (オンラインにて開催)	40 名

② ケアマネ事例検討会

開催日	タイトル	事例提供者	参加
日吉 7/2 (金)	「生活の質の著しい低下があるが、改善への方法が見いだせないケース」	はぎの里ケアプランセンター 谷口ケアマネ	12 名
八木 7/13 (火)	「義理人情」を大切にする高齢者を支える方法	ほほえみ八木 居宅介護支援事業所 国府ケアマネ	12 名
美山 10/15 (金)	認知症状のある夫と統合失調症の妻 父との 関係が悪い長男の事例	居宅介護支援事業所 美山こぶしの里 小林ケアマネ	9 名
園部 11/19 (金)	利用者の思い・子供たちの思いの間でケアマネはどうする？	居宅介護支援事業所ふあいと 市原ケアマネ	13 名

③ その他 ケアマネ支援（ケース支援など）

事例概要		地域	主な対応、支援内容
1	自宅の環境や身体状況から在宅復帰が困難、家族とも疎遠で保証人や経済的な課題もあり、施設入所にも支障があるケース。	美山	ケアマネへの引継ぎ後も、施設入所に向けて、関係機関や親類、保佐人等、連携のフォローを行った。
2	前頭側頭型認知症（疑い）にて対応困難なケースについて。家族の理解が得にくく、デイでの対応も困っている状況。	八木	状況と一緒に確認し、医師との連携から行う方が良いこと整理する。初期集中支援チームの提案・検討。
3	ケアマネに引き継いだ医療ニーズの高い方で、サービス調整中。退院直後、家族から体調不良で心配、との電話がみられた。	八木	自宅を訪問し体調確認を行う。家族へ介助のアドバイスを行った。ケアマネへ対応の情報共有、今後の支援方法についてフォローを行った。
4	末期癌の夫の介護を担う妻の精神的・身体的負担について。夫の病状進行と妻の介護負担を心配し、医師から検査入院を勧められたが、ご夫婦共に希望されず、支援者が心配しているケース。	園部	ケアマネやケースワーカーの訪問に同行し、夫の病状や妻の介護負担、今後の意向について確認した。関係者で情報を共有し、今後の支援について検討。
5	認知症状が進行し、独居生活が難しくなっているケース。訪問時に本人が不在など、サービス提供しにくい状況も発生している。	園部	本人の行動範囲と一緒に歩いて、家を留守にする状況を確認し、支援の方向性を検討。
6	認知症が進行し、カギの保管・扱い等が難しくなっているケース。独居でもあり、安全面の心配がある。	八木	家族とカギの保管等について確認。認知症状の進行に伴いどのように在宅生活を支えていくか、認知症ケアパスを使用しながら見通しを立てた。
7	人工透析を定期的に必要とされている方。栄養や塩分量に制限があるが、食事は家族が用意するインスタント食品に偏り、健康状態に影響が出てきているケース。	八木	ご家族と面談をする。人工透析の方の健康管理や食事内容について説明。インスタント食品以外のバランスのとれた商品の紹介をした。
8	家族支援に苦慮しているケース。家族とケアマネの関係性が改善せず、助言をしても平行線。父の認知症進行と体調悪化に伴い娘への介護負担が増した。	日吉	個別会議を開催し課題整理。ケアマネ一人で抱え込まず、サービス事業所や保健師、包括が家族支援の視点で関わることを確認した。
9	高齢世帯。妻がうつ病。救急車や警察、ケアマネ等へしんどさを訴えている。頻回な救急搬送でサービス調整が難しく、入院中にも救急車を呼ぶなど対応に苦慮している。	日吉	しんどさの訴えに対し医療機関や行政との連携、夫以外の家族と経過共有し、今後の方向性を整理していくことを提案し、入院となる。

④ なんたん通所サービス部会

	開催日	活動内容	参加
幹事会	4/5（月）	・令和2年度、令和3年度幹事の引継 ・今年度の通所サービス部会の研修計画について	6人
第1回	7/16（金）	第45回なんたん通所サービス部会を開催。連続研修「コロナ禍でも楽しい時間を作りましょう～レクリエーションの基礎座学から実践へスキルアップ！～」をZoomにて実施。当日は、12事業所、22名の参加。	22人
幹事会	8/12（木）	・第45回なんたん通所サービス部会振り返り ・第46回なんたん通所サービス部会について	6人
第2回	11/12（金）	第46回なんたん通所サービス部会を開催。連続研修の第2部「コロナ禍でも楽しい時間を作りましょう～レクリエーションの基礎座学から実践へスキルアップ！～」を実施。当日は、9事業所21名の参加。	21人
第3回	3/4（金）	第47回なんたん通所サービス部会を開催。 「新生活様式を取り入れたデイサービスの在り方を考えよう」と題し、各事業所の取組などについてアンケートを実施。今後、アンケート結果を共有予定。	

⑤ 地域ケア推進会議

昨年度にロジックモデルを使って今までの会議を見直ししたことを土台に、今年度の会議を計画する。参加者は、市内で実際に活動中の団体やこれから始めようとしている団体・個人に限定し、新たなサロンや地域活動団体が1つでも増え、さらに地域活動の意欲が高まる機会にした。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、旧町毎に日程を分散、各会場15名と制限し開催した。

南丹市内で活動している2団体の活動報告の動画を視聴後、グループワークを行った。

成果として、参加団体の横の繋がりができしたこと、団体によっては、新たな活動や勉強会を開催されるなど、地域活動がさらに深まるきっかけづくりに繋げることができた。

来年度は、民生委員や事業所とも関わるよう、個別会議ででてきた地域課題を分野別にテーマにして地域包括ケアシステムと連動できるよう内容を検討していきたい。

※ロジックモデルとは、事業や組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた道筋を体系的に図示したもの

	開催日	内容	参加
第1回	日吉町：10月21日（木） 遊youひよし2階研修室 美山町：10月29日（金） 美山文化ホール 1階会議室 園部町：11月17日（水） アスエル園部大研修室 八木町：11月25日（木） 八木市民センター ※各会場13：30～15：30	<p>テーマ：みんなでつくる地域包括ケアシステム 『住民主体の活動で地域を豊かにする』</p> <p>○活動報告（動画視聴） ・桐ノ庄郷振興会（園部町） 会長 中川 圭一 様 ・胡麻地域まちづくり協議会（日吉町） 事務局長 和久田 哲夫 様</p> <p>○質疑応答、意見交換</p> <p>（まとめ） 今年度は、南丹市内に活動している2団体の活動報告を動画視聴後、グループワークを行った。参加団体は、サロン、NPO、振興会など、子どもから高齢者まで幅広い世代で活動されており、それぞれの活動を知る機会にもなった。 参加者からは、高齢者に限定せず幅広い世代へに向けた活動の工夫や広報の仕方、活動者と参加者の垣根をなくし一緒に活動することなど参考になったという意見が多くかった。</p>	21団体 31名

⑥ 地域ケア個別会議

【令和3年度の開催】 会議数： 41回（24ケース）

- ・昨年と比べると単発の会議が多かった。会議を機に、関係機関で情報共有の連携を行う事ができた。
- ・民生委員からの相談で開いた会議もあり、地域とご本人やご家族、関係機関が連携できる場となった。
- ・個別会議が、担当者だけで抱えずに、様々な機関に相談する事の必要性を知ってもらう機会となった。

【来年度に向けて】

- ・会議開催にあたっては、目の前の困りごとに目がいきがちだが、会議の最終目標を見据え、地域課題に目を向けて開催できるように工夫する必要がある。
- ・ケアマネ事例検討会や民生委員との情報交換についても個別会議として捉えることで、幅広く地域課題を抽出できるようになると考える。また、市内全体で課題について考えられるよう、まずはその下地作りとして、定期的に行っている会議の分析内容を、ケアマネ連絡会やエリア会議、調整会議などで共有する。
- ・会議録の見直しにより、次年度からはレベル別に地域課題をあげ、資源づくりの根拠としてスムーズに地域ケア推進会議に繋げていきたいと考える。

1-1. 実施状況（延べ回数）

町名	実施回数
園部	10
八木	17
日吉	11
美山	3
合計	41

1-2. 実施状況（ケース数）

町名	人数
園部	8
八木	7
日吉	6
美山	3
合計	24

2. 職種別参加状況

参加者	参加者数（人）
包括職員	58
高齢福祉課	43
保健医療課	8
社会福祉課	13
福祉相談課	6
その他行政の課	11
介護支援専門員	32
介護サービス提供事業所	46
障がい者サービス提供事業所	5
社協職員	24
認知症推進員	0
その他事業者	2
本人	3
家族・親族	7
医療系従事者等	3
民生委員	12
区長	0
近隣等	3
警察関係	1
消防署	0
金融機関	0
その他	5
合計	233
1回あたりの参加者数	7.1

3. 開催の経緯※重複あり

情報共有	31
近所との関係	6
障がいの課題	11
制度はざま	2
経済的な課題	7
認知症の課題	5
虐待	13
独居	5
高齢者世帯	0
居場所	0
見守り	7
医療の課題	5
施設入所	4
家族関係	10
就労	0
住環境	9
運転	0
その他	13

会議回	キーワード	ケースの概要	会議の内容
1 日吉	1 情報共有 ・連携	子供へのネグレクトで行政が介入していた世帯で、その母親が入院し、介護が必要な状態で退院する。退院後は、夫の介護が期待できず、10代、20代の子供が世話をすることが想定される。	子供のネグレクトで介入していた行政が、母親の退院後のその世帯の生活を心配し、関係者で情報を共有する。また、地域での支えも大切な役割となるため、この家のことを昔から知っている人や、民生委員に状況を知ってもらう事になる。
2 美山	5 情報共有 ・連携	兄弟で暮らしていたが、兄は特養入所、弟は病院に入院中で寝たきり状態となり、二人とも自宅に戻る予定はない。もともと飼っていた猫（7匹）が自宅に取り残され、関係機関がボランティアでのエサやりなどをしている。	兄弟の現状や猫への対応の経過について情報を共有、また、猫に対しての地域から苦情等も出てきており、今後、保護団体へ引き取つてもらうことになっており、それまでの間の動きなどを話し合った。
3 美山	1 住環境	独居。住まいや身なりが不衛生。匂いも強く、バス乗車時等、周囲に敬遠されている。経済的に困窮、バスの運賃が払えない等あり。飲酒もあり、地域で心配の声があがっている。	本人も交え、離れて暮らす息子や民生委員、駐在所などで、今の状況をを話し合い、環境整備をしていくことになった。また、サービス利用や施設入居についても検討する事になる。
4 八木	1 住環境	独居で水道・ガスなし、室内が不衛生など生活環境が整っていない方が、さらに介護サービスも必要になってきている。	住環境により適切な支援の提供につながらないことや、本人の身体機能の低下もみられ、今後生命の危機にも至ってしまうリスクがあるため、住まいの変更や、医療の確保をしていく事になる。
5 園部	2 医療の 課題	息子夫婦と同居しているが、息子妻は発達障がいと難病を患っており、KPの息子も、親の病気の理解や将来の見通しがをたてるのが難しい方。親の糖尿病悪化と認知症状の進行もでてきて、一家のバランスが崩れきっている。	本人と息子妻のKPである息子は見通しを立てるのが苦手な為、一家の支援としては、優先順位をつけて一つずつアプローチしていく事になる。まずは、本人の糖尿病管理の為に、訪問看護を提案していく事になる。
6 八木	6 複雑な 家族関係 ・家族の 疾患	ネグレクトで虐待認定されたケース。介護が十分でなく不衛生な状態である。主介護者に高次脳機能障がいがあり、介護力の不足を認識できず介護出来ているとの思いが強い。	前回の会議後の経過、状況確認をする。本人の状態は悪化なし。介護サービスで対応していることもあり、主介護者に困り感もない。主介護者が困った時に支援ができるように、様子伺いを続けていく事になる。
7 日吉	1 高齢者 本人・ 家族の 支援拒否	高齢の両親と精神疾患のある50代の娘の生活を、離れて暮らす4人の娘たちが不安視している。同居の娘の支援者との情報共有と、今後（両親亡き後）に向けた娘の自立支援について検討する。	生活力は低下しているが両親がサービス利用や支援を受入れず閉鎖的な一家。自らも生活しづらさが増す中、娘にかかる負担を軽減したい。まず主治医や姉の協力のもと、娘が支援者（基幹相談）のアプローチを受け入れやすい環境をつくる事になる。
8 八木	1 その他の 個別課題	家庭内に知的障害の孫がおり、主介護者はダブルケアとなっている。負担の増加はあるが、自身で介護したいとの思いからサービスの増回を受け入れない。	本人や主介護者の特性に応じた対応策を知ることで、利用できる事業所も増やすことができ、主介護者の負担軽減につながることを確認。もの忘れ外来受診をきっかけに、関わり方の助言をもらうことを確認しあう事になる。

会議回	会議回	キーワード	ケースの概要	会議の内容
9	八木	1 認知症-中核症状	電気が止まり警察へ助けを求めたことにより行政へ報告。認知症が進行しており食事摂取の記憶もなく、所持金や預金残高がなかった生活保護受給者のケース。急遽受診支援、入院となる。退院後の支援に向け、各関係機関と連携を行い、最終確認のため会議を行なった。	生活を支援する介護保険サービス事業所職員、金銭管理を担う福祉サービス利用援助事業職員、行政職員や包括職員で集まり、支援内容や緊急時の連絡体制について検討、共有を行う事となる。
10	日吉	1 見守り情報共有・連携	独居高齢者。近所が買い物に連れて行ってあげたり、電気がついているか見守りをしている。しかし、本人の物忘れもあり、周りが振り回されていた。民生委員、近隣住民、社協で支えられることを話し合った。	それぞれで対応していることを整理し、役割分担の確認をすることで、関係者間の勘違いが生じないように話し合った。お互いのことを理解して、みんなで支えていこうという気持ちを共有し、会議後の連携がスムーズになった。
11	八木	2 その他の個別課題	体に複数の内出血痕（つかむ、つねられる）があり、身体的虐待認定されたケース。本人の認知症症状もみられ、知的障害の孫もおり、介護者の負担が大きくなっている。	行政職員や包括職員が介護者と会えておらず、どのようにつながりを作るかについて検討する。
12	園部	1 家族-共依存	妻と2人暮らし。本人は高次脳機能障害を患い、妻が主介護者。自己判断で服薬したり、収支バランスがおかしい自覚あり。困りごとあるも、解決に向けた提案は本人夫婦共に拒否。環境整備の希望もあるが、自宅に支援者が入る事も拒否。	各自がもっている情報を出し合い、ご本人夫婦像を共有した。本人が解決したい課題を書面にしてもらい、視覚で共有しながら解決方法を提示してみる事となる。妻へは、包括と保健師で訪問を試みる事となる。
13	園部	1 経済-低収入	独居、権利擁護利用中。長年働いている警備会社の社長などにお金を貸して欲しいと金銭トラブルになっている。また、1度に沢山の事を対応する事が困難な方である。	金銭について、貸して欲しいと連絡があった場合、社協に連絡するよう促す対応を統一する。1度に複数の対応が困難な方である為、1つ1つその都度対応をしていく事となる。
14	園部	1 複雑な家族関係・家族の疾患	本人の病状（パーキンソン、認知症）により介護負担大。京都市内に自宅のある次女が支援（在宅ワーカー）。府外に住む長女の支援なし。本人の前でも次女の発言がストレートだったり、「自分でも何をするかわからない」という次女の発言がある。	次女の各事業所に対する様子や、事業所が行っている対応を共有した。次女の精神科受診に繋げるため、まずは支援者のみで保健所相談へ行く事となる。また、疎遠になっている長女へ、本人の病状と介護負担について知らせる事となる。
15	日吉	2 虐待-男性介護	息子が入院中で、独居状態。本人は認知症。息子から暴力あり、突発的ではあるが複数回発生しているため、今後は入所の方向が良いと判断したケース。申込がどのように進んでいるかの確認。	申し込みできている施設の空きがいつ発生するか、確認する必要があること共有。空きがなかなかないようであれば、他の施設に申し込んでもらうよう、家族に説明する機会を作ることになる。
16	八木	1 その他の個別課題	長男から暴力を受け、以前警察沙汰になったケース。一時期は離れて暮らしたが、再び長男を含めた生活に戻っていた。再度暴力を受けたことで自宅から逃げたいとの希望があり、今後の動きについて検討する。【No.16と夫婦】	生活の場としてケアハウスやシェルターを検討した。本人夫婦との面談を経て、翌日ケアハウスへ相談に行くこととなる。金銭面の不安があり次の居場所が決まるまでホテルか車中泊となる。

回数	会議回	キーワード	ケースの概要	会議の内容
17	八木	1 その他の個別課題	長男から暴力を受け、以前警察沙汰になったケース。一時期は離れて暮らしたが、再び長男を含めた生活に戻っていた。再度暴力を受けたことで自宅から逃げたいとの希望があり、今後の動きについて検討する。【No.15と夫婦】	生活の場としてケアハウスやシェルターを検討した。本人夫婦との面談を経て、翌日ケアハウスへ相談に行くこととなる。金銭面の不安があり次の居場所が決まるまでホテルか車中泊となる。
18	美山	1 障がい-身体	独居。視力障がい1級。これまで、ヘルパー利用をしながら、何とか身の回りのことも行ってきたが、さらなる視力の悪化、高齢による体力や認知機能低下等によって、生活等への支障が目立ち、地域での心配も強くなり、地域や家族を交え、現状の共有や今後について検討した。	ご家族、地域の関係者、サービス事業所にて情報共有を行い、現状やリスクなど共有を行った。ご本人の思いも汲み取りつつ、ご家族としての思いや考えを確認し、在宅生活の限界を見据え、現在の暮らしの継続（サービスの充実や地域での見守り）、今後の住まい等について準備を行っていくこととなった。
19	日吉	4 住環境	市営住宅で独居生活を送る女性。夜間の騒音に近隣住民から再三にわたる苦情あり。ショートステイを利用しながら、本人に合った住居と住み替えのタイミングを検討する。	知的障害と最近は認知機能低下も見られる。本人にとって、障がいへの対応が手厚い施設か高齢者施設かどちらが住みやすい環境か、本人の希望に沿いながら新たな住まいを提案する。
20	日吉	1 情報共有・連携	権利擁護事業利用中の77歳男性の生活の立て直しについて、同居する家族含めた支援の方法を検討する。	義理娘と孫が同居しているが、本人は別居を希望している。個々の生活力のない部分を補いあっているが、それが自立し、本人が望む暮らしを実現できるよう行政含めた多職種での関わりをはじめる事となる。
21	日吉	3 虐待-男性介護	認知症の親と精神疾患のある子の世帯。子から暴力あり、突発的ではあるが複数回発生しているため、今後は入所の方向が良いと判断したケース。子が入院となり、今後の対応を検討する。	子が入院したため独居状態。生命の危険がない程度の暴力行為について、どこまで強制的に分離するか検討が必要。ショートステイの利用を増やし、離れられる時間を作りながら、入所を待つ。次に暴力等あれば分離をする。
22	日吉	4 虐待-男性介護	No.20の続きの会議。入院していた子が退院。認知症の親は入所となる。この状況に納得できないと思われる子への穏便な説明について検討。	精神的に不安定になりやすい子であるため、子の支援者の協力も得て、別居の生活に慣れてもらえるよう、情報の伝え方の順番を決める。また、本人については、問題なく施設での生活が送れていることが確認できたら虐待の判断を終結することにする。
23	八木	1 家族-共依存	地域から心配の声があがり、保健師と包括で訪問が始まったケース。親子が相互にぶつかってしまう状況があるため、それぞれに関係機関が介入している。	親子が穏やかに生活が送れるよう支援者間で情報共有や検討を行なう。子の今後を心配する親の立場としての面談を行なうため、本人に何を確認していくかを話し合う。
24	八木	1 高齢者本人の認知症以外の精神疾患	3年間入院をしていたが本人の希望もあり在宅生活に戻ることになったケース。退院前に本人と支援関係者とともに、顔合わせ話し合う場をもつことになった。	現状の確認を行なった。本人の不安や思いを確認した上で、支援者間でできそうな対応策や、懸念されることを話し合い、サービス内容の確認を行なった。

回数	会議回	会議回	キーワード	ケースの概要	会議の内容
25	八木	2	高齢者 本人の 認知症 以外の 精神疾患	3年間入院をしていたが本人の希望もあり在宅生活に戻ることになったケース。自宅退院後、介護保険や障がいサービスの利用開始に向けたサービス担当者会議を行なう。	利用するサービス利用事業者、民生児童委員とともに今後のサービス利用状況について共有する。本人の同意の元、本日からサービスが開始となった。
26	八木	3	精神疾患 への対応	3年間入院をしていたが本人の希望もあり在宅生活に戻ることになったケース。自宅退院後、介護保険や障がいサービスの進捗、対応状況について検討する。	事業所、民生児童委員、権利擁護担当者とサービスの利用状況について共有する。民生委員や事業所に「一人が寂しい」と強く訴えがあるが、現状のサービス利用を維持し、見守りを続けていく事となる。
27	八木	4	精神疾患 への対応	3年間入院をしていたが本人の希望もあり在宅生活に戻ることになったケース。自宅退院後の地域生活をどのように支えていくか検討する。	冬場・夏場の温度管理が心配であり、空調設備設置を検討する。また電話がつながったため頻繁に救急車を呼ぶことが懸念され、本当に必要な時以外は支援者は対応しないことで統一を図る事となる。
28	八木	7	複雑な 家族関係 ・家族の 疾患	虐待ケース。担当者会議の場でサービス提供事業所の情報共有、長男の思いを確認する。経済面の心配を長男からも述べており、今後施設入所の申込はしない、との長男からの意向がある。	介護認定更新に係るサービス担当者会議。長男が介助しやすいように、ベッドの導入、マットレスの変更を試すこととなる。また、リハビリ職から長男の介助方法への助言をもらう事となる。
29	八木	8	複雑な 家族関係 ・家族の 疾患	虐待ケース。長男、担当ケアマネでの意思疎通のズレがあり、長男の不満につながっている。主治医から事業所を交えて、話し合う機会をつくることに提案があり、ケース会議に至る。	長男の不満を伺い、各事業所からの思いを話し合う。長男の課題となっている排泄介助を支援者に任せる支援計画について医師から提案があったが、長男が自分で行いたい思いを言われ応じられなかつたが、ベッドの導入に同意された。
30	八木	9	複雑な 家族関係 ・家族の 疾患	虐待ケースの評価会議。経過を確認し合う。	No.28 のケース会議を踏まえ、引き続き本人の安楽を優先にサービス利用ができるように長男に働きかける事や、長男自身の社会参加の場の提供のため、関わりを持っていく事となる。
31	日吉	5	虐待- 男性介護	息子から暴力あったケース。本人は認知症あり入所。本人と会いたがる息子は、周囲の支援者に毎日電話をし、面会を希望している。希望に対してどのように対応するか検討する。	精神的に不安定になりやすい息子であるため、本人と電話で話すことが不安定さにつながる可能性がある。会いたいが、今は写真が欲しいという訴えに変わっているため、写真を準備し、反応を見ながら、親子が電話で話すタイミングを計る事となる。
32	園部	2	社会的 孤立・ 身寄りが ない	余命宣告を受けており、身寄りがない方に対して、成年後見も間に合わない可能性が高い。余命宣告を受けている中で、今出来る事が何なのかを検討する。	本人の病状の共有を行うと共に、死後の対応についても確認する。成年後見については本人申し立てが難しい為、福祉相談課へ市長申し立ての依頼を行う事となる。

会議回	会議回	キーワード	ケースの概要	会議の内容
33	園部	1 家族-共依存	今年の夏から30年ぶりに夫と同居。本人は認知症と統合失調症の診断あり。本人より夫からの暴力があると訴えがある。夫からは、妻の介護負担があると訴えがある。家の中が見えにくいケース。情報共有し、今後のアプローチを検討する。	暴力の事実は不明ながら、今後もデイや病院でアザ等の確認を行い、夫の介護負担を吐き出す場所として定期的に面談を行っていく。民生委員を中心とした地域の見守り、適宜関係機関で情報共有していく事となる。
34	園部	1 障がい-精神	要介護4（夫）とMCI（妻）の夫婦と娘（精神疾患）の世帯と別棟に息子が住んでいる。娘の精神的なしんどさの訴えがあり、娘自身が相談先を希望。相談機関への繋ぎ方を検討する。	介護者である娘自身が相談先に繋がる様、保健師と包括で訪問する事となる。娘一人が介護を担っている為、息子にも協力を得られないか探っていく事となる。
35	日吉	2 経済困窮	前回会議以降の経過共有。本人が施設入所することによる同居家族への影響に配慮しつつ、準備を進めていく。今後は同居家族への支援が並行して行われることとなる。	軽費老人ホームへの入居時期は未定も、本人が同居の義娘にそれとなく話をしている。本人の入居が決まってからの義娘と子の生活となつた場合に考えられる課題を共有する。
36	八木	5 精神疾患への対応	3年間入院をしていたが本人の希望もあり在宅生活に戻ることになったケース。自宅退院後の地域生活をどのように支えていくか。	関係機関、民生委員で前回会議からの情報共有を行なう。
37	園部	1 認知症支援	妻・息子（発達障害）との3人暮らし。高次脳機能障害とアルツハイマー型認知症により、夜間も外へでかける様になってきた。何度も保護している警察から、情報を知りたいと連絡入り、会議の場を設定。	医療、サービス、家族の対応など現状できる事は行っている。GPS携帯は必ず持つて出かけられる為、家族やCMで対応できる範囲では行うが、夜間は警察の協力を引き続き求めていく。民生委員へ見守り協力依頼する。
38	日吉	1 介護者支援	以前よりケアマネから支援困難と相談があったケース。支援に行き詰るポイントを明確にし、チームとして一家を支援できるよう体制を整える機会にする。	ケアマネと家族の関係性を悪化させず、主介護者の負担軽減と他の家族の協力を得られる方法を検討。ケアマネひとりが抱え込みず、サービス事業所はじめ保健師や包括も介護者支援の立場から家族にアプローチし、一家の変化を共有する。
39	園部	2 精神疾患への対応	成年後見人のついている独居高齢者。サービス入っているが、入浴できていない。娘との関係が悪く、協力は仰げない。本人は最期まで自宅希望。	情報共有。施設入所を無理にはすすめず、本人の思いを尊重し、現状の生活のまま、保清できるよう支援の工夫を検討。
40	園部	2 精神疾患への対応	要介護認定と、MCI診断の夫婦と、家族（精神科受診）。別棟にも家族がいる。家族の精神的なしんどさがあり、相談先を希望しているものの、いざとなると相談を躊躇される。4月に関わる担当者が一斉に変更になる。	各機関の担当者が4月に変更になる為、次担当者と情報共有を行った。介護者の特性をふまえて、専門の相談機関への繋ぎ方を優先順位をつけて検討した。
41	八木	1 認知症の課題	認知症・昼間独居の高齢者。近隣へトイレの仕方を聞きに行くなどあつた中で、中からかけるカギが増えており、扱いのわからない本人は外出できなくなっている状況。支援者で情報を持ち寄り今後の検討を行う。	家族の生活状況と、本人の認知症の進行を考えると、在宅生活を長く継続するのは難しいこと共有。カギは身体拘束にあたることと、入所に向けて手続きを進めるように、家族に話をしていく。

(4) 介護予防マネジメント

令和3年度から『訪問型サービスD』が本格的に開始となり、チェックリストを実施し「事業対象者」でサービスを利用する人が増加した。コロナの状況で、サービス利用に変動があるが、月540件～600件の利用となっていて、前年度より月毎で約50件増えた。「事業対象者」の担当を受託するケアマネが少なく、包括職員が担当している状況である。

①介護予防サービス・総合事業（介護予防・生活支援サービス（第1号事業）

ア. 令和3年度 月別サービス 利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	35	38	66	66	60	55	68	70	75	58	46	64
要支援1	123	115	117	123	126	130	135	135	135	138	128	132
要支援2	386	387	386	391	384	377	380	386	390	388	385	376
合 計	544	540	569	580	570	562	583	591	600	584	559	572

イ-1. 介護予防支援/介護予防ケアマネジメント委託状況（町別）

	全体	園部	八木	日吉	美山
ケアマネ	380	152	99	65	64
(委託率)	66.4%	70.4%	69.2%	55.6%	66.7%
包括	192	64	44	52	32
合 計	572	216	143	117	96

※R4.3月時点（市外在住4名除く）

イ-2. 介護予防支援/介護予防ケアマネジメント委託状況（全体）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度
ケアマネ	236	268	298	323	338	384	383	389	380
(委託率)	69.4%	71.1%	71.1%	74.1%	68.7%	75.6%	76.3%	73.5%	66.4%
包括	104	109	121	113	154	124	116	140	192
合 計	340	377	419	436	492	508	502	529	572
包括職員配置	8人	9人	9人	10人	10人	11人	11人	11人	11人

- ・南丹市内委託居宅介護支援事業所…18箇所 介護支援専門員数…43人
南丹市外委託居宅介護支援事業所…3箇所 介護支援専門員数…3人
- ・R4年3月に他市・他県でサービスを利用している要支援者…4人
京都府内…2人 他県…2人
- ・南丹市内のケアマネジャー1名あたり平均担当数…9.2人

ウ. 介護予防サービス計画・介護予防ケアプラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防支援	380	379	378	387	382	382	388	392	395	397	387	378
ケアマネジメントA	154	147	149	148	148	153	154	156	156	153	151	160
ケアマネジメントB	10	14	42	45	40	27	41	43	49	34	21	34
合 計	544	540	569	580	570	562	583	591	600	584	559	572

- ・介護予防支援…介護予防サービス利用（総合事業サービス含む）
- ・ケアマネジメントA…総合事業サービス（現行相当）利用（くらし安心サポート・訪問型サービスD含む）
- ・ケアマネジメントB…総合事業サービス（くらし安心サポート・訪問型サービスD）のみの利用
- ・介護予防サービス…通所リハビリ・福祉用具貸与・訪問看護・短期入所など
- ・総合事業サービス…通所型サービス（デイサービス現行相当）
訪問型サービス（訪問介護現行相当）
くらし安心サポート
訪問型サービスD（移送前後の生活支援サービス）
- ・事業対象者…基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方

エ. 令和3年度 町別 サービス利用件数（認定別）

	園部	八木	日吉	美山	計
事業対象者	26	12	22	4	64
要支援1	52	32	24	24	132
要支援2	138	99	71	68	376
※R4.3月時点					572

オ. 令和3年度 町別 サービス利用件数（ケアプラン別）

	園部	八木	日吉	美山	計
予防支援	131	88	83	76	378
ケアマネジメントA	72	48	21	19	160
ケアマネジメントB	13	7	13	1	34
※R4.3月時点					572

(5) 地域包括支援ネットワークの構築

①介護者（家族）の会

（全体）

令和3年度は、前年度実施できなかった合同交流会をオンライン方式で開催することができた。一堂に集まることはできなかったが、久々に顔を合わせることができた喜びは画面越しに感じることができた。また、昨年に引き続き合同ニュースを発行し、各会の取り組みや会員の声を掲載し、民生委員や介護サービス事業所に配布し、家族会の啓発も行った。

（各町）

行事を計画するも延期や中止を繰り返し、今後の活動のあり方や集まらない方法での会員交流の形を考える機会となつた。

（今後の展開）

家族の形態も変化していく中、例えば、現役介護者が家にいながら交流や情報を得られるSNSの活用や、介護者の多様化に即した他機関との連携（ヤングケアラー、障がいなど）を図ったり、OBの経験を活かせる場など、新しい家族会のかたちを考えていくことも必要になってきている。

南丹市介護者家族の会（全体）

	開催日	内容など	参加
会長会	6/1 (火)	オンライン会議（情報共有、今年度の活動について）	8名
ニュース	8/27 (金)	合同ニュースNo.4発行	
打ち合わせ	8月下旬	合同交流会開催について（各町ごと会長と事務局打ち合わせ）	
会長会	11/1 (月)	オンライン会議（合同交流会について）	9名
交流会	11/11 (木)	合同交流会（オンライン）研修「怒りの感情コントロール」・介護体験発表	32名
会長会	12/1 (水)	オンライン会議（合同交流会の振り返り）	8名
ニュース	2/28 (月)	合同ニュースNo.5発行	
会長会	3/2 (水)	オンライン開催（次年度の活動について）	9名

園部町介護者の会 なごみの輪（会員数：25人 [うちOB会員7人]）

	開催日	内容など	参加
第1回	4/21 (木)	総会、交流会	10名
	5/6 (木)	なごみの輪ニュース発行	
第2回	6/23 (水)	おしゃべり交流会	10名
	7/14 (水)	なごみの輪ニュース発行	
第3回	8/25 (水)	認知症についての勉強会 延期	
	11/11 (木)	合同交流会（オンライン）	9名
	11/16 (火)	なごみの輪ニュース発行	
第4回	12/22 (水)	クリスマスおしゃべり交流会	11名
	1/14 (金)	なごみの輪ニュース発行	
第5回	2/17 (木)	おしゃべり交流会 中止	

八木町介護者の会 たんぽぽ (会員数：32人 [うちOB会員26人])

開催日	内容など	参加
第1回 4/9 (土)	役員会 (R3年度総会について)	10名
第2回 4/19 (金)	R3年度 八木町介護者 (家族) の会「たんぽぽ」総会	14名
8/18 (水)	たんぽぽニュース発行	
10/12 (火)	たんぽぽニュース発行	
第3回 10/21 (木)	役員会 (活動内容について)	
11/11 (木)	合同交流会 (オンライン)	12名
第4回 12/3 (金)	クリスマス会 (交流会&ツリーの飾り付け)	15名
第5回 3/24 (木)	役員会 (来年度の総会について)	10名

日吉町介護者の会 紼の会 (会員数：13人 [うちOB会員5人])

開催日	内容など	参加
第1回 4/20 (火)	役員会 (事務局引継ぎ、総会について)	5名
	5月 R3年度総会議案書発送	
第2回 6/16 (水)	役員会 (総会書面決議結果、今年度の活動計画)	4名
6/30 (水)	糺ニュース発行	
8/10 (火)	暑中見舞いはがき発送	
11/11 (木)	合同交流会 (オンライン)	5名
第3回 12/16 (木)	役員会 (合同交流会報告、1月の活動計画)	3名
12/28 (火)	糺ニュース発行	
1/19 (水)	新年交流会 中止	

美山町介護者の会 あいの会 (会員数：14人 [うちOB会員6人])

開催日	内容など	参加
第1回 4/30 (金)	総会 交流会	11名
4/30 (金)	あいの会ニュース発行	
第2回 5/21 (金)	交流会	6名
6/15 (火)	あいの会ニュース発行	
第3回 6/23 (水)	喫茶交流会 カーサ美山	7名
第4回 7/16 (金)	交流会	7名
第5回 10/1 (金)	グラウンドゴルフ交流会	13名
11/11 (金)	合同交流会 (オンライン)	6名
第6回 11/11 (金)	紅葉狩り	6名
11/26 (土)	あいの会ニュース発行	
第7回 12/10 (土)	クリスマス会&忘年会	9名
第8回 3/25 (金)	交流会	5名

②さまざまな社会資源との連携

コロナ禍で出前講座やサロン等で地域に出る機会がなく、高齢者との接点が持てなくなっている。また、生きがい通所事業（ミニデイ）も終了となり、さらに高齢者の把握できなくなっている中、できることを模索し、高齢者とつながるツールとして『介護予防手帳』が活用できるか試験的に取り組んだ。結果、個人の相談に繋がったケースがあり、次年度も活用を考えている。

ア. 出前講座

	実施日	地域	団体・対象	内 容
1	5/25 (水)	美山	知井下サロン	フレイル予防の話など
2	6/21 (火)	美山	内久保サロン	認知症の話
3	8/3 (水)	園部	曾我谷サロン	フレイル予防の話、ロコモ2ステップ測定、体操
4	8/23 (火)	八木	ほほえみ八木訪問介護事業所	南丹市の認知症施策について
5	8/24 (水)	八木	ほほえみ八木訪問介護事業所	南丹市の認知症施策について
6	7/1 (金)	日吉	生畑サロン	包括啓発、オレンジガーデニングプロジェクト
7	7/7 (木)	日吉	上胡麻サロン	包括啓発、オレンジガーデニングプロジェクト
8	10/25 (月)	八木	エール	介護予防手帳、包括啓発
9	11/1 (月)	園部	元桐ふれあい広場	介護予防手帳、包括啓発
10	11/13 (土)	日吉	声掛け見守り訓練	認知症ミニ講座、声掛けの仕方、声掛け訓練
11	11/18 (木)	日吉	興風デイ	介護予防手帳、包括啓発、手芸
12	11/28 (日)	園部	出張相談 摩気文化祭	握力測定、ロコモチェック、包括啓発：39人
13	12/20 (月)	園部	元桐ふれあい広場	介護予防手帳
14	12/21 (火)	八木	ほほえみ八木訪問介護事業所	認知症ケアパスについて
15	1/18 (火)	八木	ほほえみ八木訪問介護事業所	虐待対応について
16	2/21 (月)	園部	元桐ふれあい広場	介護予防手帳
17	3/7 (月)	園部	元桐ふれあい広場	健康すごろく

イ. 会議等への出席

【全体】

	出席数	月 日	主な内容
南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 (地域包括支援センター運営協議会)	1	6/30(水)	地域包括支援センター令和元年度事業報告、令和2年度事業計画について第8期介護保険事業計画策定
南丹市老人ホーム入所判定委員会	1	5/28(金) 書面開催	養護老人ホーム入所継続審査
南丹市生活困窮自立支援事業支援調整会議	6	4/20(火)、5/26(水)、6/28(月)欠席、7/27(火)欠席、8/23(月)、9/28(火)欠席、10/28(木)、11/22(月)、12/22(水)、1/21(金)欠席、2/25(金)文書、3/22(火)	生活困窮者の相談実績報告、支援計画の確認
京都中部総合医療センター地域医療支援病院運営委員会	2	7/12(月) 報告資料配布、11/12(金)、3月 報告資料配布	医療連携実績報告、新型コロナウイルス感染症対応、新棟整備基本構想案
南丹市認知症初期集中支援サポート会議	2	9月文書報告、1/25(火)オンライン	情報交換、チーム活動の報告、その他
京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会	4	6/30(水)総会(文書決議)、オンライン研修、2/9(水)オンライン研修、3/25(金)オンライン総会、3/29(火)オンライン研修	
南丹市障がい者支援ネットワーク会議 全体会	1	12/1(水)	意思決定支援(part2～実践から価値観まで～) 講義、グループワーク
南丹市事例検討会(地域リハビリテーション支援センター)	1	11/24(水)	事例検討、意見交換
南丹地域くらしの安心・安全ネットワーク情報交換		12/17(金)書面報告	消費生活に関する取り組み状況、課題、関係機関との連携について
京都府地域リハビリテーション 南丹圏域連絡会	1	10/25(月)	令和2年度事業報告、令和3年度事業計画について

【園部】

会議名	出席数	月 日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	1	4～6月会議なし 7/9(金)、9/10(金)中止、12/1(水)全体会、1/22(金)意見提出、3/12(金)	情報交換 研修
民生児童委員協議会総会、定期会	1	4/22(木)	総会
地域別懇談会		10/15(金)西本梅、10/29(金)川辺、11/5(金)元桐、11/19(金)摩気	協議テーマ「地域の絆を取り戻そう」、グループで懇談
園部たすけあい会議	1	5/19(水)、7月、9月～3月なし	住民主体の助け合いについて
園部エリア会議	9	4/5(月)、5/11(火)、6/3(木)、7/1(木)、8/4(水)、9/2(木)、10/6(水)、11/4(木)、12/2(木)、1/6(木)、2月なし、3/1(火)	各部署情報交換、園部地域について
幸せの里運営推進会議	3	4月書面、6/23(水)、8月書面、10/27(水)、12/22(水)、2月書面	施設運営報告、意見提出
はぎの里オアシス運営推進会議	1	5/11(火)会議なし、7/13(火)会議なし、9/14(火)会議なし、11/9(火)、1/11(火)会議なし、3/8(火)会議なし	文書報告、意見提出 サービス評価について
だんない運営推進会議	1	5月会議なし、7/15(木)、9/16(木)会議なし 11/11(木)、1/14(木)文書報告、3/11(木)	文書報告、意見提出 サービス評価について
ふれあい本町運営推進会議		8月書面、2月書面	
ケアリング運営推進会議	1	10/25(月)	事業報告、事業計画について

【八木】

会議名	出席数	月日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	3	4/20（火）、6/15（火）中止、8/17（火）中止、10/12（火）、12/1（水）全体会、2/15（火）中止	情報交換、今年度の方針について 研修
民生児童委員協議会総会、定例会	2	6/23（水）、11/24（水）	社協（居宅、地域、包括）との懇談会、介護保険制度についての話
地区民生委員との懇談会	3	[東地区]7/26（月）、[北地区]11/18（木）、[西地区]12/15（水）	情報交換
ふれあい委員研修会			
ふれあいネットワーク会議	8	[南A]11/4（木）、[南B]11/16（火）、[東B]11/1（月）、[東C]11/8（月）、[西A]11/11（木）、[西B]11/19（金）、[北]11/2（火）、[神吉]11/17（水）	各地区の情報交換
八木エリア会議	7	4/26（月）、6/7（月）、7/13（火）、8/11（水）、9/8（水）、10/12（火）、12/23（木）	情報共有、個別事例、認知症啓発活動（オレンジガーデニングプロジェクト、ライトアップ）について、地域課題の捉え方について
かたらいの家運営推進会議	1	5月会議なし、7月会議なし、9月会議なし 11/17（水）、1月会議なし、3月会議なし	運営について、文書報告（意見提出）文書での意見提出 11月：運営について
ちくりんえん運営推進会議	1	5月会議なし、7月会議なし、9月会議なし、11/18（木）、1月会議なし、3月会議なし	運営について、文書報告 文書での意見提出 11月：運営について、認知症カフェについて
ラポールデイサービスセンター運営推進会議		会議なし	運営について、文書報告 文書での意見提出
N I S リハトレセンター運営推進会議		6月会議なし、12月会議なし	6月分、12月分文書報告
やぎ詩の郷運営推進会議		6月会議なし、3月会議なし	6月分文書報告、3月分文書報告
NPO法人デイハウスほっこり運営推進会議	1	12/23（木）、3月会議なし	活動内容報告、3月分文書報告

【日吉】

会議名	出席数	月日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	2	5/25(火)中止、7/20(火)、 9/21(火)中止、12/1(水)全体会、 3/22(火)	情報交換、意見交換、文書報告、新型コロナウイルス感染症対策について
ふれあい委員研修会		6月上旬 (YouTube、DVD、冊子)	包括紹介動画
日吉たすけあい会議	1	12/15(水)	移動支援について竹野地区カーシェアリング勉強会、情報共有
日吉エリア会議	2	4/15(木)、6/22(火)	情報共有、協議事項
おれんじスポットひよし実行委員会	5	オンライン会議：4/15(木)、 6/22(火)、8/12(木)、10/14(木)、 12/9(木)、2/10(木)	年間計画、振り返り、開催検討
おれんじスポットひよし	1	5/13(木)中止、7/8(木)、 9/9(木)中止、11/11(木)開催、 1月中止	認知症の当事者と家族の方などが交流・情報提供
はぎの里ふれあいホーム運営推進会議	1	5/13(木)中止、7月中止、9月中止、 11/11(木)開催、1月中止、3月中止	・活動報告、サービス評価・意見交換 ・中止時は、文書報告・意見書を提出
はぎの里デイ運営推進会議		開催なし (10月・3月書面にて)	令和2年度事業報告、令和3年度上半期事業・活動報告
はぎの里評議員会	2	6/28(月)、12/22(水)、3月書面決議	令和2年度事業報告、計算書類及び財産目録、監事監査報告 理事及び監事の選任 12/22新規事業について、上半期報告
胡麻地域まちづくり協議会懇談会	1	12/10(金)	活動報告、ごまデイについて意見交換、情報共有

【美山】

会議名	出席数	月日	主な内容
障がい者支援ネットワーク会議	2	4/14(水)、6/9(水)中止 8/18(水)中止、10/6(水)欠席 12/1(水)全体会、2/9(水)欠席	情報交換、意見交換、年度計画、方針など
美山町 居宅介護支援事業所と民生児童委員との懇談会	1	10/14(木)	意見交換、今後について
美山エリア会議	12	4/26(月)、5/27(木)、6/24(木) 7/26(月)、8/30(月)、9/27(月) 10/26(火)、11/26(金)、12/28(火) 1/31(月)、2/24(木)、3/28(月)	情報共有、協議事項
グループホーム美山やすらぎ運営推進会議	2	5/20(木)中止、7/19(月)、 9/21(火)中止、11/18(木)、 1/18(火)中止、3/29(火)中止	入居者の様子、新型コロナ関連、情報提供など
美山デイサービスセンター認知症対応型通所介護運営推進会議	1	9/21(火)中止、11/18(木)、 3/29(火)中止 (文書報告)	利用者の様子、新型コロナ関連、情報提供など
知井ふれあいホーム運営推進会議	1	7/29(木)、3月中止	利用者の様子、新型コロナ関連、情報提供など
グループホームみやま運営推進会議	2	5/26(水)中止 (文書報告) 7/28(水)、9/22(水)中止、11/24(水)、 1/26(水)中止、3/26(水)中止	入居者の様子、新型コロナ関連、情報提供など

(6) 認知症を知り地域で支える活動の推進

① 認知症サポーター養成講座の開催

コロナ禍で、認知症サポーター養成講座の開催依頼も減ったが、相談があった際に感染対策を行なながら実施してきた。受講者からは、自分達だけで解決するのではなく、家族や相談機関と一緒に考えていけばよい、まずは家族に広め、町内や子供会でも講座が開催できればいいな、という感想が聞かれた。

コロナ禍以前の様な開催方法に戻ることは難しいと思われるため、状況に合わせた開催方法を検討していく必要がある。また、子どもに向けた開催の機会も確保し、認知症の理解を深めていくことも考えていきたい。

月日	地域	対象者	サポーター数	キャラバンメイト	使用教材・内容
1 8/4 (木)	園部	書店、ふれあい委員、行政	6人	栗原・上井	標準テキスト
2 11/16 (木)	日吉	日吉福祉体験	7人	笛江・三宅	標準テキスト
3 2/22 (火)	八木	企業、住民	5人	芦田・中斎	標準テキスト
合計					13人

②南丹市徘徊SOSネットワーク「つながろう南丹ネット」事業

今年度は他市から1件行方不明のFAX送信依頼が入った。（南丹市内はなし）

協力機関に向けて発行している「つながろう南丹ネット通信」は、行方不明者への声のかけ方や連絡先など具体的な対応を掲載した。

来年度は、見守りネットワークとの連動や、協力機関マップを用いて地域の見守り体制を可視化し、事前登録者増を目指す。また、高齢福祉課と定期的に情報共有を行い、利用者が安心して暮らせる地域づくりに繋げていく。

■事前登録、協力機関、FAX送信

事前登録 (行方不明の心配のある方)	33人	新規登録：2人(4～6月) 3人(7～9月) 1人(10～12月) 2人(1～3月)
協力機関登録(4～12月新規) (行方不明発生時に見守り・情報提供を行う)	187箇所	新規登録：6ヶ所(4～6月) 6ヶ所(10～12月) 5ヶ所(7～9月) 3ヶ所(1～3月)
FAX送信(4～12月)	1件	事前登録 発見 1件 有：0件 無：0件 ※市外：0件 (亀岡市)

2. 認知症初期集中支援推進事業および認知症地域支援・ケア向上事業（南丹市委託事業）

今年度は、新規2ケースの対応、次年度への継続ケースになる。最近の傾向では、医療か介護サービスにつながっている場合でも、対応に苦慮しているケースが増えてきている印象にある。認知症初期集中支援チームで対応し、サポート医からの助言や内服調整など、細やかに対応できる強みが發揮できた。ご家族から相談がある時には、既にもの忘れ外来などの医療にかかっていることも多く、もの忘れ外来の認知度が上昇していると思われた。事業の広報として住民だけではなく、再度、関係機関にも周知をしていきたい。

(1) 認知症初期集中支援チーム活動

性別	男性：1人 女性：2人
年齢	70歳～74歳：2人 75～79歳：0人 80歳～84歳：1人 85歳以上：0人
把握ルート	家族から：1人 民生委員から：0人 介護支援専門員から：2人 行政から：0人
終了ケース	認知症：1人 軽度認知障害：0人 要介護：2人 要支援：0人 事業対象者：0人 未認定：1人

■チーム会議（チーム員・チーム員医師）

内容…訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討

	月日	検討ケース	新規	継続	支援終了	モニタリング
第1回	4/27 (火)	1		1	1	
第2回	12/14 (水)	1	1			
第3回	2/8 (火)	1		1		
第4回	3/22 (火)	2	1	1		

■サポート会議・その他会議など

	会議名	月日	主な内容
1	市と認知症事業打合せ	6/1(火)	サポート会議、検討会議などの役割や開催目的の整理
2	第1回サポート会議	9/7(火)	活動報告など（書面にて開催、報告）
3	市と認知症事業打合せ	12/1(水)	サポート会議の内容・提案事項について確認
4	第2回サポート会議	1/25 (火)	活動報告（オンライン開催）

(2) 認知症地域支援推進員

今年度は「なんたんオレンジガーデニングプロジェクト」を軸にして、南丹市内で認知症についての啓発を行った。ケーブルテレビでの取り組み紹介、写真募集、インターネット（フェイスブック）上で届いた写真とコメントの紹介など、アルツハイマー月間に合わせて情報を発信した。

花をテーマにした取り組みということで、農芸高校の学生に育てていただいた花を市内の介護保険サービス事業所へ寄贈するなど、若い世代との接点も持つことができた。

この他にも、アルツハイマー月間には、啓発カラーのオレンジ色でのライトアップや、図書館での関連コーナー設置など、啓発に繋がる取り組みを行った。

また、昨年度から実施に向けて打ち合わせを重ねていた「見守り声掛け訓練」を行った。運営側のスタッフ含め、当日は36名が参加した。参加したほとんどの人が、はじめはどうすればよいかわからない不安や、緊張をしているということだったが、訓練終了後は、「声掛けができそう、自信がついた」「良い機会だった」と前向きに捉えていた。地域の方からは、繰り返すことでの身についていくので、また来年も実施したいという声を聞いている。

認知症の当事者・家族、かかわりを持つ地域住民、それぞれに向けて必要な情報が伝わるよう、どのような広報や啓発活動が効果的か引き続き検討し、発展させていきたい。

①各種会議、研修等への出席

(京都府) (南丹圏域)

(南丹市)

内容		内容	
市町村施策連絡会	3/10[木]	認知症事業計画等会議	6/1[火]
オレンジロードつなげ隊・認知症地域支援推進員合同研修	1/27[木]		

②各取り組み、活動

内容	
広報・啓発	認知症初期集中支援チーム
	・民生委員へパンフレットを活用し紹介
	なんたんオレンジガーデニングプロジェクト
	・全国的に広まりつつあるオレンジガーデニングプロジェクトについて、公式のfacebookページに声掛け、南丹市内でも行う内容について共有する。（ページにて、南丹市の取り組みも紹介いただく） ・取り組みについて、市内の介護保険事業所、医療機関、障がい者施設、郵便局、振興局などに、チラシを使って案内。 ・ケーブルテレビにて、プロジェクトの広報と写真募集 ・9/3（金） 京都府立農芸高等学校草花コースの学生に、認知症についてのミニ講座 ・お店に掲示してもらえる認知症啓発のポスターを作成し、商工会女性部へ配布
	園部城祭り
	園部城祭りに向け、商工会女性部と一緒に広報についてポスターや花の苗の配布を検討 →祭りは中止となる
認知症にやさしい図書館	認知症に関する本の紹介 ・オレンジガーデニングプロジェクトに寄せられた花の写真の掲示
	認知症ケアパスの紹介 ・訪問介護事業所のヘルパーに、認知症についての研修として、認知症ケアパスを紹介・説明 [12/21] ・ケアメン俱楽部（男性介護者のつどい）にて、認知症ケアパスを紹介 [12/22]
	認知症カフェの広報 市内の認知症カフェについて、ポスター・チラシ作成に向けて、カフェに呼びかけ

認知症の理解	ライトアップ	市内で取り組めそうな場所について検討、声掛け。 ・9/16～19 国際交流会館 ・9/21～9/30 18:00～22:00 南丹市社会福祉協議会 八木事務所
	生畑区声掛け見守り訓練	11/13（土） 日吉町生畑地区のサロン（ようきはったカフェ）にて、声掛け訓練実施。[参加者：36名（運営スタッフ含む）] サロン運営の地域の方、民生委員、駐在、社協地域福祉部と連携し、認知症についての勉強会と、認知症の高齢者役（3名）に声をかける練習の場を作る。 ・10/18（月） 社協・包括と打ち合わせ ・10/20（水） 生畑地域との打ち合わせ ・11/12（金） 生畑地域との打ち合わせ ・11/22（月） 生畑地域との振り返り
相談支援	認知症相談	・服薬管理 　・金銭管理（権利擁護事業） 　・デイ送り出し 　・介護保険サービス利用について 　・車の運転について 　・徘徊について 　・デイでの対応苦慮について
	当事者支援活動	オレンジガーデニングプロジェクトの案内、種植えや世話、咲いたら写真データで共有をおこなっていただくななど参加いただぐ。
地域の把握	民生児童委員との情報交換会	地域で気になる方、心配な方の有無を確認（6～9月）
	認知症カフェ（おれんじスポットひよし）	・第1回おれんじスポットひよし実行委員会[4/15(木)] おれんじスポットひよし5月[5/13(木)]中止 ・第2回おれんじスポットひよし実行委員会[6/22(火)] ・おれんじスポットひよし7月[7/8(木)] ・第3回おれんじスポットひよし実行委員会[8/12(木)] ・おれんじスポットひよし9月[9/9(木)]中止 ・第4回おれんじスポットひよし実行委員会[10/14(木)] ・おれんじスポットひよし11月[11/11(木)] ・第5回おれんじスポットひよし実行委員会[12/9(木)]
連携・ネットワーク	本人ミーティング検討会議	4/27(火) 本人ミーティングの開催目的や参加対象者の有無などについて共有。 (認知症疾患医療センター、南丹保健所、市役所高齢福祉課、包括にて)
	なんたんオレンジガーデニングプロジェクト	各関係機関や社協地域とも連携をし、取り組みを通じてネットワーク構築や連携を図る。 ・8/19（木） 京都府立農芸高校草花コース 教員との打ち合わせ →9/3（金） 学生に認知症についてのミニ講座と、学生が育てた花の受け取り →9/7（火）、8（水） 市内の福祉施設に花を配布 ・商工会女性部、南丹市社会福祉協議会と一緒に取り組み、商店に掲示していく たまごポスターを作成 次年度へ向けて、南丹市観光交流室と打合せ（3/29）
	認知症初期集中支援チーム	チーム員会議に参加
	認知症カフェ	・八木町の認知症カフェについて、開催検討している事業で座談会を計画・呼びかけ

居宅介護の部

▶ 各事業所利用状況

居宅介護支援事業

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	5,004	4,900	4,854	4,847	4,857	4,829	4,829	4,555	4,386	4,282	4,161	4,258
利用者数	334人	332人	330人	328人	330人	327人	313人	312人	303人	294人	289人	293人

※月別利用者数 要支援認定者2人は1人として換算

訪問介護事業（介護保険・障害居宅合算額）

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	9,121	9,125	9,308	9,669	9,210	9,280	9,009	9,030	8,670	8,033	7,788	8,801
利用者数	2,529人	2,485人	2,525人	2,645人	2,516人	2,565人	2,438人	2,419人	2,299人	2,120人	2,081人	2,383人

通所介護事業（介護保険・障害生活介護合算額）

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	4,907	6,497	6,760	6,663	6,250	5,778	5,701	5,391	5,386	5,258	5,160	5,686
利用者数	456人 (76.0%)	603人 (77.3%)	610人 (78.2%)	620人 (76.5%)	580人 (74.4%)	565人 (72.4%)	554人 (71.0%)	519人 (66.5%)	505人 (70.1%)	483人 (64.4%)	472人 (65.6%)	528人 (65.2%)

※()内は稼働率 介護保険利用定員1日30人 障害生活介護1日5人

認知症対応型通所介護事業

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	2,893	3,043	2,815	2,957	2,771	2,433	2,308	2,382	2,326	2,227	1,824	2,157
利用者数	230人 (73.7%)	243人 (77.9%)	224人 (71.8%)	235人 (72.5%)	223人 (71.5%)	197人 (63.1%)	187人 (59.9%)	193人 (61.9%)	192人 (66.7%)	184人 (61.3%)	153人 (53.1%)	180人 (55.6%)

※()内は稼働率 利用定員1日12人

小規模多機能型居宅介護事業

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	3,324	3,330	3,407	3,715	3,897	3,662	3,780	4,204	4,248	4,480	4,712	4,607
利用者数	15人 (60%)	15人 (60%)	17人 (68%)	18人 (72%)	19人 (76%)	19人 (76%)	19人 (76%)	21人 (84%)	21人 (84%)	23人 (92%)	23人 (92%)	22人 (88%)

※()内は登録率 登録定員1月25人

▶ 居宅介護支援事業（介護予防居宅介護支援）

【園部】まとめと課題

管理者1名、非常勤2名の新体制でスタートした。非常勤2名はケアマネジャー初心者であるため、基礎からの指導を行い、支援の充実に努めた。また、下半期は令和4年度、南部統合にむけご利用者に不利益が講じない様、丁寧に説明を行った。新規相談者受け入れを慎重にしたため、実績減少となった。

【八木】まとめと課題

八木においては、職員体制は安定しており、小学校の車いす体験を通した福祉教室、男性介護者の会、訪問D（外出送迎時の見守り）の説明へと地域に向いての発信を行った。社会福祉士実習生の受け入れ、日本介護支援専門員会の近畿ブロック研究大会での研究発表を行った。

【かぐら（日吉・美山）】まとめと課題

美山診療所の居宅介護支援事業所閉鎖に伴い多くのケースを引き継ぐ形で令和3年度がスタートした。新規採用の職員の指導に事業所全体で取り組んだが、急な退職となり1名減のまま年度を終えることになった。職員1名分の利用者を残る職員で分担するも、1名当たりの担当上限数を超えてしまうため、超える約20名のご利用者の大部分を他法人居宅へ移行、包括支援センターへも移行を行った。下半期は常勤換算39.7人と上限ぎりぎりでスタートし、入院や入所などの自然な終結を経て、新規相談にも対応できるまで落ち着いた。しかし、職員一人一人の負担は一年を通して過度なものであった。

共通まとめと課題

3事業所共通して下半期、特に1月から3月にかけては、南丹市各地で、コロナ感染によるサービスの提供を中止する施設（デイサービス・ショートステイ）が次々とあり、土日、夜間問わず事業所からの連絡が入り、事業所間での利用状況の確認作業、サービス調整などに追われる事態になった。入浴や、食事の提供等が中止となり、介護者の介護負担の増加と、代替サービスとなる訪問系事業所との板挟みになる状況もあった。今後、繰り返される事も十分考えられ、速やかな対応ができるよう、緊急時に備えていく。また、引き続き感染対策（マスク、ゴーグル、消毒等）をし、万が一、職員が感染をした場合にも、周囲の方が濃厚接触者とならないよう行動に注意を払っていく。

また、一年を通して入院から転院や施設入所等により在宅復帰できないケースも多くみられた。

令和4年度に向けて

機構改革により、南部、北部の2事業所ともに特定事業所となり、加算算定による収益アップが期待される。ケアマネジャーの経験年数も様々であり、お互いのスキルアップにつながる事業所内でのミーティングや研修会の実施にて、地域での特定事業所としての使命を果たしていく。また、事業所の設置がなくなった地域も含め、全地域に出向いてのアウトリーチ対応に努め、重度化予防プランの提案、在宅復帰にむけたケアプランの提案を通し、在宅生活の継続に向けた支援を行っていく。

▶ 訪問介護事業（障がい居宅サービス事業）ほほえみ八木訪問介護事業所

1. 現状

下半期は利用者数が減少していく時期だが、年間通しての状況は安定しており収支的には健全な状態を保つことができた。一方で人材確保の課題については大きな改善にはいたらず、今後の事業運営に不安を残す形となった。サービスのニーズはあるものの、人員が確保出来ないためサービス

を調整できないといった状況が今も続いている。労働環境面では、ラインワークスの導入に伴いオンライン会議等の仕組みを構築し効率的な事業運営に役立てることができた。

2. 課題

新しい人材確保が進んでいないことや、現役ヘルパーの高齢化が進んでいることから、将来を担う人材確保が大きな課題である。また多様化・複雑化していくニーズにも柔軟に対応できるよう、多職種との連携も今後の課題であると認識している。

3. 次年度に向けて

今年度取り組めなかった「ヘルパーの魅力を伝えるプロジェクト」を進めていき、人材確保課題改善の糸口を作っていく。サービス提供責任者の育成にも力を注ぎ、多様化・複雑化していくニーズにも柔軟に対応できる人材ならびに事業所づくりを進めていきたい。

▶ 訪問介護事業（障がい居宅サービス事業）ほほえみかぐら訪問介護事業所

1. 現状

介護報酬改定に併せ特定事業所加算Ⅱを取得したが、前年度に比べ利用者減により実績収入は減少した。要因として、利用ニーズに対して稼働できるヘルパー供給が伴わないことや入院を経て在宅復帰に繋がらないケースがあった等が考えられる。コロナによる対応や地域での災害が生じた際には、関係機関との連携を密にして事業を継続する事ができた。各ヘルパーがストレスを抱え込まないよう、声を掛けあい話しやすい環境づくりを意識して事業運営に取り組んだ1年であった。

2. 課題

新規人材の確保や、ヘルパー自身の高齢化、土日・祝日に稼働できるヘルパーの確保が難しいなど多くの課題を抱えている。それに加え、介護ニーズの多様化・複雑化・高度化に伴い常勤職員の稼働が増えており、その他事務処理等にかかる時間の確保が難しくなっている。さらにはサービス提供地域が広域（日吉～美山）であるため、移動にかかる時間が非効率的でありそうしたこともサービスの調整を難しくしている。

3. 次年度に向けて

長期化するコロナ禍においても、幅広いニーズに柔軟に対応し、事業所の信頼度を高めていく事で、安定的な利用者確保につなげていきたい。人材確保の面では、働きやすい職場環境の構築を掛け、ヘルパーという仕事の魅力を地域に発信していく。次年度は日吉・美山のエリアを「チームかぐら」として位置づけ、業務を見直しや効率化を図り、人材育成・定着に取り組んでいきたい。

▶ 通所介護事業（生活介護事業）ほほえみ八木通所介護事業所

1. 現状

サービスの利用率の低迷が続き経営面では非常に厳しい1年となった。利用率が低迷した要因として、長引くコロナ感染症や経営管理の甘さが大きく影響したと考えられる。またこうした状況に加え施設の老朽化が進みそれに伴う修繕・改修費も増大している。利用者支援の方では現場の職員を中心に丁寧な支援を提供してきた。

2. 課題

収支のバランスが大きく崩れしており、早急に立て直しを図る必要がある。またサービス提供体制や仕事の仕組みにも課題があり、抜本的な業務改善を進めていく必要がある。

3. 次年度に向けて

丁寧な支援を提供するとともに事業所の信頼度を高めていき、安定的な利用者確保につなげていきたい。また定期的に事業所内で経営改善会議を開催し、具体的かつ効果的な取り組みを進めていきたい。次年度は第三者評価を受ける年にあたるため、受診に向け書類等の整理も実施していきたい。

▶ 認知症対応型通所介護事業 やぎ詩の郷

1. 現状

今年度は新規利用者数も少なく、入院や入所に伴う利用者減が目立つ年であった。新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、サービスの利用を控える利用者も多く年間通して非常に厳しい利用率となった。しかし、こうした厳しい状況の中であっても事業を継続することができ、必要なサービスを利用者に届けることで事業所としての役割は果たすことができた。認知症支援に特化した事業所として様々なケースに携われたことは、職員の自信やスキルアップにつながり、支援の幅が広がった年でもあった。

2. 課題

短期入所や入院、入所に伴う利用率の低下がみられ、数値の改善が大きな課題であると認識している。現状を分析してしっかりと数値の改善に取り組んでいきたい。支援の面では、認知症周辺症状が顕著な利用者が多く、より高度で専門的な支援が求められている。職員個々のスキルの向上が必要であると感じている。

3. 次年度に向けて

認知症支援に特化したサービスが提供できるよう引き続き、勉強会を定期的に実施していきたい。また利用者家族の支援の強化にも努め、介護負担軽減になるような取り組みを進めていきたい。安定した経営を目指すために、居宅介護支援事業所にも積極的に営業活動を行い、事業所の強みや特色を活かしながら利用者確保に繋げていきたい。

▶ 小規模多機能型居宅介護事業 小規模多機能ホームだんない

1. 現状

業務ならびに経営改善の取り組みを通じ、徐々にではあるが変化が表ってきた年であった。支援の部分ではだんないの強みを活かすことでサービス内容に幅を持たすことができた。職員の働き方も見直すことで合理化を図ることができた。こうした取り組みが経営数値の改善につながり、職員のモチベーションにも影響していると思われる。

2. 課題

利用者登録数を安定させるためには、あらゆる面からアプローチをかけ新規相談につなげていくためのしくみを構築する必要がある。また業務面でも情報の共有のしくみや効率的な時間管理などまだまだ課題は多くある。

3. 次年度に向けて

関係機関との更なる信頼関係の構築に努めるとともに、地域との関係づくりにも力を注いでいきたい。引き続き健全な事業運営が実現できるよう、サービスの質の向上ならびに経営数値の管理を徹底していきたい。

自立支援の部

▶ 各事業所利用状況

つくし園（児童発達支援・保育所等訪問）

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	1,208	1,185	1,504	1,409	1,536	1,565	2,250	2,110	2,158	1,688	1,837	2,244
利用者数	110人	107人	135人	125人	137人	137人	192人	179人	182人	143人	157人	191人

※()内は稼働率 利用定員 1日 10人

つくし園（障害児相談支援）

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	129	19	169	146	117	228	91	16	145	106	19	51
利用者数	6人	1人	7人	9人	10人	11人	5人	1人	3人	10人	4人	2人

てのひら（特定相談支援）

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	87	236	398	112	200	328	132	186	352	142	128	186
利用者数	6人	15人	26人	8人	13人	21人	8人	12人	23人	9人	7人	12人

あじさい園

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	3,736	3,214	3,834	3,574	3,050	3,453	3,769	3,634	3,456	2,926	3,073	3,276
利用者数	553人 (75.2%)	477人 (71.7%)	569人 (73.9%)	530人 (75.7%)	448人 (64.0%)	498人 (71.1%)	550人 (74.8%)	531人 (75.9%)	506人 (72.3%)	425人 (71.4%)	447人 (71.0%)	479人 (62.2%)

※()内は稼働率 利用定員 1日 35人

ひより舎

収入実績 単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入実績	2,295	1,899	2,391	2,149	2,162	2,246	2,332	2,059	2,151	1,938	1,859	2,461
利用者数	327人 (77.9%)	269人 (70.8%)	340人 (77.3%)	302人 (75.5%)	303人 (72.1%)	317人 (79.3%)	329人 (78.3%)	287人 (71.8%)	304人 (76.0%)	271人 (79.7%)	258人 (71.7%)	347人 (78.9%)

※()内は稼働率 利用定員 1日 20人

▶ 児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業 つくし園

1. 現状

令和3年度は年度の途中から繋がるケースが多く合計67名の利用となった。また利用者の増加に伴い、クラス数を増やすことができた。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、集合形式の行事など中止することとなったが、事業の方は年間を通して継続することができた。関係機関との連携においては、様々な相談や面談の場に積極的に同席することで効果的に連携を行うことができた。職員育成では、関係機関の協力を得ながら、実践的かつ有効な研修を行うことができた。

2. 課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者参加の行事など中止としたため、参観や親子でのふれあう機会を持てなかつた。職員も保護者と直接顔を合わせる機会が少なくなつておつり、十分な情報の共有が出来ていないことは今後の課題である。求められる専門性については、与えるだけではなく、職員が主体的に学ぶことを意識した研修を行い、療育の質の向上に努めていけるよう、段階的に育成する必要があると感じている。

3. 次年度に向けて

保護者と情報共有する機会として、参観や親子のふれあいを目的とした行事の実施、個別面談や個別見学を随時受け入れていきたい。関係機関との連携強化については、並行通園先の様子を見学する機会を作り、療育での関わりや視点を見直していきたい。職員研修においては、現場での実践研修、事例検討などの内部研修、外部研修を組み合わせながら、専門性を磨いていきたい。

▶ 障害児相談支援事業・特定相談支援事業 つくし園・てのひら

1. 現状

つくし園、てのひらにおいて担当職員の交代があつたが、利用者やその家族に大きな混乱や不安な思いにさせることなく引継ぐことができた。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、施設入所者及び施設利用者においてのモニタリングは電話での対応となり、非言語的な表出部分からの汲み取りができない中でのプランニングになつてしまつた。それが利用者の思いに添つた内容になつたか課題が残つてゐる。

2. 課題

専任相談員1名以外は他業務と兼務をしており、個々にかかる負担は大きいものである。そうした中、日常的に相談員同士で意見を交わすことも難しく、それぞれに不安を抱えながらの業務となつてゐる。

3. 次年度に向けて

ケース内容に応じて、相談員が意見交流できる場を設けるようにし、個人で抱え込まないように配慮する。個々の相談員が研修に参加できる環境を作ること、研修内容を伝達する場を作ることで、相談員の資質向上にも努めていく。兼務職員も相談員として職務に専念できるよう、時間と気持ちの余裕が持てる環境作りに工夫をしていきたい。

▶ 地域活動支援センター事業 そよかぜ八木・そよかぜ日吉・そよかぜ美山

1. 現状

新型コロナ感染予防のため、飲食の提供や人数が多く集まるプログラムを自粛したり、中止したりしたため利用者が減少した。

2. 課題

孤立や引きこもり状態となっている障がいのある方との接点が少ない。通信の発行等は行つてゐるが、地域住民への認知はまだ低く、そよかぜの利用に繋がっていない。そよかぜの利用者数を増加に繋げていく取組みの工夫が必要である。

3. 次年度に向けて

現在登録されて通所ができる方については、数少ない社会との接点として、利用を継続していけるように寄り添っていく。登録されているがなかなか通所できていない方については、継続的に訪問しこちらから接点を持つように心掛ける。『そよかぜ土曜日』の内容の工夫や広報の幅をひろげることで『そよかぜ』の存在を地域の方に知ってもらうことに努めていきたい。

▶ 就労継続支援B型・生活介護事業 あじさい園

1. 現状

令和3年度は利用者31名となった。新型コロナウイルス感染症による事業への影響は大きく、様々な活動の制限・縮小や感染拡大防止の取り組みとして工夫を凝らしながら過ごした1年であった。また職員ならびに利用者も新型コロナウイルス感染症により自宅待機する状況も多くみられ、こうした状況は就労支援事業にも大きく影響が及び、職員・利用者は大きな不安と疲労を抱えることとなった。しかしながら、厳しい状況下であっても関係者や地域の協力を受けながら、無事に1年を終えることができたことは大きな成果であった。

2. 課題

引き続き事業所内での感染拡大を防ぐことが大きな課題である。治療法が確立されていない中で、難病や基礎疾患が重い利用者の不安は依然大きく、その中で具体的にどのように支援、活動していくかがポイントである。こうした状況の中で、職員も大きな重圧と疲労を抱えているため、働き方の管理等も重要になってくる。

3. 次年度に向けて

拡大防止策を続けながら生産活動を継続し、お客様等の信頼に応えながら、利用者の地域生活の啓発や成長につなげていきたい。また、健康への取り組みを増やし、レクリエーションの充実も図りたいと考えている。

▶ 就労継続支援B型・生活介護事業 ひより舎

1. 現状

令和3年度は12月に1名の新規受入れがあり登録者数が24名となった。通所率は定員に対し約76.6%と、前年度の75.4%より微増した。コロナ禍、利用者の安全を第一に考えながら楽しみをもって通える施設づくりに努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により利用自粛者や臨時休業など予期せぬ事態も多く発生したが、関係機関との連携を強化することで利用者支援に努めてきた。生産活動については、進め方や内容を見直し工夫することで年間通して維持することができた。

2. 課題

終わりが見えないコロナ感染への対応が求められる中、新規利用者の確保や利用者の不安軽減や安全確保、また職員の確保や精神的な疲労軽減など取り組むべき課題は数多く残されている。生産活動では活動の維持や自主事業の品質向上などに取り組んでいく必要がある。

3. 次年度に向けて

利用者の健康と安全を最優先に考えながら、やりがいや楽しみが少しでも増えるよう支援を継続していきたい。事業運営の安定のため、両事業への新規利用者受入れを進めるとともに、新人職員の育成に力を入れ、質の高い支援が提供できるよう取り組んでいきたい。生産活動では企業からの作業確保や菓子事業の品質の維持、ひよりカフェやイベントでの販売を継続し、収入の安定を目指していきたい。

法人運営理念

すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり

法人運営基本方針

[住民との福祉の共創]

すべての住民が支え合い、学び合い、福祉活動に参加できる地域社会を目指します。

[福祉協働社会の構築]

地域のあらゆる機関・団体と協働し、すべての住民が、心豊かで安全に安心して暮らせる福祉のまちづくりに、計画的に取り組みます。

[選ばれる福祉サービスの提供]

地域に密着した支援体制の整備・開発を提言・実施し、質の高いサービスを提供します。

南丹市社会福祉協議会 サービス精神

- 一、お客様にあくまでも満足していただくサービスを提供しなければならない。
- 一、サービスは、高度で専門的でなければならない。
- 一、サービスの提供は、的確にかつ迅速・効率的に行わなければならない。
- 一、常に、お客様の側に立って、助言を与えなければならない。

南丹市社会福祉協議会 職員心得

- 一、お客様にはいつもほほえんで、その場にふさわしいご挨拶をしよう。
- 二、どのお客様にも誠心誠意をつくして、丁寧かつ好意的な言葉と態度で接しよう。
- 三、お客様の様々な質問と要求には迅速かつ的確に答え、その場で答えられない問題は、自ら責任を持って回答を得るようにしよう。
- 四、お客様からの要求がなくとも、お客様のニーズを察知することによって問題を解決しよう。